

国立国会図書館

住所:100-8924 千代田区永田町 1-10-1 開設年:1948 年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 35,650,000 冊 職員総数(常勤のみ):882 人

目的 〔達成状況〕	①その他:遠隔サービスの拡充 ②資料の保存・管理 ③収蔵スペース縮小
所蔵資料の 収録率	2% (図書の所蔵数に占める割合)
運営予算	◆年間予算に占める割合:4.1% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等: コンテンツの構築については、平成 21 年度の補正予算で大規模なデジタル化予算が計上されたため大きく進捗した。しかし、デジタル化すべき資料のうち、現状の予算でデジタル化できる資料はごく一部にすぎない。今後は、限られた予算の中で一定規模のデジタル化予算を継続的に確保することが課題となる。
人員	◆運営担当者:新規採用、知識の多い職員、知識の少ない職員、他部署の者、研究者等専門家、非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:前職がシステムエンジニアでデジタルアーカイブの仕様作成、外部委託業者の管理が担える。図書館システムの導入・構築の経験者でデジタルアーカイブの要件定義、調達業務を担える。前職でメタデータ作成業務の経験があり、メタデータスキーマの作成・維持を担える。 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等: ・【現状と課題】通常の試験による職員採用枠だと電子図書館や情報システムに精通している職員を得ることが難しいため、そのような職員を育成するかあるいは新規採用する必要がある。 ・【工夫点や成果】専門的な知識や実績が必要となる作業に関しては、職員選考採用試験の実施、On-the-Job トレーニングの実施、マニュアルの整備等により、人員の確保・ノウハウの維持に努めている。
権利処理	◆処理方法:その他:自らの部署で書面で権利保有者から許諾を得ている。一方、機関外の専門家や業者にも処理を任せており、かつ、相談も行っている。著作権フリーの資料については許諾なしにデジタル化している。また、権利保有者との信頼関係を構築している。 ◆処理状況(年間処理件数/費用):把握している [約 20,000 件/約 30,000,000 円] ◎課題・工夫点等: ・平成 21 年 6 月の著作権法の一部改正（平成 22 年 1 月施行）により、著作権者の許諾を得なくても、当館が蔵書を電子化することができることになった。また、当館の蔵書を電子化したもののインターネット上での公開について、文化庁長官裁定は、重要な役割を果たしている。そこで、平成 22 年 1 月からの施行が予定されている、著作権法施行令の一部を改正する政令案に基づく文化庁告示で、裁定に係る具体的な事項が定められること等を踏まえ、所管である文化庁著作権課と協議を行っている。 - 一方、平成 21 年 7 月の国立国会図書館法の一部改正（平成 22 年 4 月施行）により、国、地方公共団体、独立行政法人等のインターネット上の情報について、許諾を得なくても当館が収集することができることになった。 - また、平成 20 年 5 月の文化審議会「過去の著作物等の保護と利用に関する小委員会」の中間総括を受けて、平成 20 年度に著作権者団体、出版者団体、大学および公共図書館をメンバーとして「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」を行っている。平成 21 年 3 月の第 5 回の協議会では、デジタル化の対象、データの管理方針、資料閲覧や複製物の提供などの方法、デジタル化を実施する際の出版者団体、著作権者団体への事前照会、今後の継続協議事項などに関する第一次合意事項が承認された。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している [International Internet Preservation Consortium (IIPC) に加盟している。また、中国国家図書館、韓国国立中央図書館と、電子図書館分野での連携協議を進めている。さらに、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）オーディオアーカイブ検討プログラム・グループに参加している。] ◎課題・工夫点等: ・【考え方、工夫点】当館がわが国のデジタルアーカイブの重要拠点となるために、デジタル情報資源の構築・提供・保存に係る諸課題について、関係諸機関や有識者と連携・協力を行う。また、デジタル情報資源の構築・共有を促進するための標準化の推進に取り組む。 ・【成果】国立国会図書館デジタルアーカイブポータル（PORTA）において、連携機関の複数のデジタルアーカイブを対象に一元的な検索を可能とし、利用可能なコンテンツやサービスへ案内している。
その他	・専門的な知識を有する職員の採用及び体制構築 ・外部有識者からの意見聴取、外部機関の事例調査等の実施 ・プロトタイプ、パイロット事業の実施による検証 ・システムの開発・調達方法の工夫による費用削減 ・著作権関係機関、デジタルアーカイブ提供機関等との調整・連携 ・手引き等のマニュアルの整備 ・普及、利用促進のための広報活動 ・デジタルアーカイブシステムの構築に係る調査研究の実施

【国立国会図書館・提供アーカイブ】

■近代デジタルライブラリー（1 件目/6 件中）

公開年:2002 年 URL:http://kindai.ndl.go.jp 更新頻度:年 1 回程度

概要	明治期及び大正期の国内刊行図書の全てのページをデジタル画像で提供している。 ◆コンテンツ総容量:7TB ◆コンテンツ総件数[内訳]:243,000 件〔公開分 15.6 万件, 未公開分 8.7 万件〕※図書 1 冊を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:9,800 件/年(過去 3 年 (H19～H21) の平均)
利用者	◆ウェブアクセス数:600,000 件(画像へのアクセス数) ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・追加公開により提供数を継続的に増加させる。 ・搭載図書の紹介ページや追加公開された図書の紹介を掲載する。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:「電子図書館サービス実施基本計画」が平成 12 年に策定され,電子図書館基盤システムにより電子図書館をサービスするためのシステム(電子図書館サブシステム)の開発が実施されたことによる ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔システム開発〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:1001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:書誌データ:当館職員, JEPG2000 XML-BOX:電子化作業受託業者 ◆準拠フォーマット:独自の基準(書誌データ: JAPAN/MARC を簡略化した独自基準, JEPG2000 XML-BOX:デジタル化の手引きを簡略化した独自のもの) ◆利用・提供用ファイル: JEPG2000 (可逆レイヤなし), JEPG, PDF (JEPG2000 (可逆レイヤなし)は機器内格納時のフォーマット, JEPG は画像閲覧時に機器にて動的に生成, PDF は画像印刷時に生成) ◆保存用ファイル: JEPG2000 (可逆レイヤあり) ◆記録媒体: DVD ◆長期保存のための取組:当館では,平成 18 年度から「電子情報の長期利用保証に係る調査研究」を実施している。その成果を元に,平成 22 年度中に電子情報の長期保存に関する実施計画を策定する予定である。近代デジタルライブラリーのデジタルコンテンツの長期保存も,この実施計画の中で位置づけられる予定である。 ◎課題・工夫点等:電子図書館基盤システムからの書誌情報の動的な反映,画像データの検索対応(本文検索)
システム連携	◆外部インターフェイス: OAI-PMH ◆連携システム: PORTA, NDL-OPAC, Webcat Plus, 想-IMAGINE Book Search, 日本法令索引 DB, 電子展示会デジタルアーカイブズ「近現代アジアの中の日本」

■国立国会図書館インターネット情報選択的蓄積事業 (WARP) (2 件目/6 件中)

公開年:2002 年 URL:http://warp.ndl.go.jp 更新頻度:ほぼ毎日

概要	(主に公的機関の) ウェブサイト ◆コンテンツ総容量:14TB ◆コンテンツ総件数:21,000 件※収録ウェブサイト(約 4,400 件)それぞれについて,1 回の収集分を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:2,000 件
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:5,600 件/月(データへのアクセス数) ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する ・当アーカイブの意義を知っていただくため,特徴あるコンテンツ紹介等の広報ページをアーカイブトップに掲載
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:インターネット情報収集に係る制度・技術面の課題検討を行い,国立国会図書館長の諮問機関＝納本制度審議会におけるインターネット情報の制度的収集に係る審議に資するため実験プロジェクトとして立ち上げ(平成 14 年度) ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔システム開発〕 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔収集プログラムによりインターネット経由でコンテンツ収集するため〕
運営	◆年間運営予算:1001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:一部外部委託
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:アーカイブ所管係職員 ◆準拠フォーマット:国立国会図書館メタデータ記述要素＝ダブリンコア準拠 ◆利用・提供用ファイル:— ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:当館はインターネット情報の収集にかかる課題共有・解決を目的とした国際連携組織である IIPC(国際インターネット保存コンソーシアム)に加盟している。当組織におけるインターネット情報の長期保存・長期利用保証に係る取組みの動向を注視しているところである。 ◎課題・工夫点等: ・収集コンテンツに対するメタデータ付与の省力化(メタデータ自動付与) ・対象コンテンツの差分収集及びコンテンツ内容の更新状況の把握
システム連携	◆外部インターフェイス:SRU(SRW) ◆連携システム:PORTA, 総務省合併デジタルアーカイブ

■貴重書画像データベース (3 件目/6 件中)

公開年:2000 年 URL:http://rarebook.ndl.go.jp/pre/servlet/pre_com_menu.jsp 更新頻度:年 1 回程度

概要	古典籍課所管資料を主とした国立国会図書館の貴重書等の一部。錦絵のような、彩色資料で構成されている。 ◆コンテンツ総容量:54.4GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:957 件 [和漢書 330 件, 錦絵 568 件, 絵図 59 件] ◆コンテンツ増加量:25 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:106,000 件/月 (画像へのアクセス数) ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 (IPA との共同事業であったため) ◆予算の出所:その他:IPA との共同事業 ◆予算獲得のきっかけ:平成 6 年に情報処理振興事業協会 (IPA, 現在の情報処理推進機構) と当館との共同事業である「パイロット電子図書館」として始まった。 ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:ほとんど外部委託
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:担当係 (整理閲覧係) ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:プロフォト CD, TIFF, JPEG2000 ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD, その他:プロフォト CD ◆長期保存のための取組:プロフォト CD について媒体変換をする必要があると予算要求をしてきた。また、他の部署が運営するデジタルアーカイブシステム機器への移行を予定しており、このデジタルアーカイブシステム全体のなかで、画像データ等の長期保存を行う。
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA

■電子展示会 (4 件目/6 件中)

公開年:1998 年 URL:<http://www.ndl.go.jp/jp/gallery/index.html> 更新頻度:年数回程度

概要	テーマごとに国立国会図書館の蔵書を紹介する、インターネット上の展示会。わかりやすい章立てに沿って読みすすめることができる。 ◆コンテンツ総容量:30GB ◆コンテンツ総件数:20,500 件※画像 1 コマを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:2,000 件
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:1,350,000 件/月 (画像へのアクセス数) [平成 20 年度 20,404,398 件, 平成 19 年度 17,120,272 件, 平成 18 年度 13,297,116 件 平成 17 年度 9,488,822 件, いずれも画像へのアクセス件数] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:表紙やデザインで親しみやすさをアピールする。解説本文と画像との画面遷移がわかりやすくなるよう心がける。
構築	◆システム開発方法:その他:特別なシステム開発はなし。館の HP で公開のための展示会作成経費のみ ◆構築予算[理由]:0 円 [前記のとおり] ◆構築業務の担い手:— ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:501~1000 万円 (コンテンツ作成経費として) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [ウェブページ作成, 資料の撮影]
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:電子図書館課職員 ◆準拠フォーマット:国立国会図書館メタデータ記述要素 (2001.3) ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

■児童書デジタルライブラリー (5 件目/6 件中) 公開年: 2003 年 URL: http://kodomo4.kodomo.go.jp/web/ippangz/html/TOP.html 更新頻度: 年 1 回程度	
概要	国際子ども図書館・国立国会図書館で所蔵している昭和 30 年以前刊行の児童書の一部について、全てのページをデジタル画像で提供している。 ◆コンテンツ総容量: 20.18GB ◆コンテンツ総件数[内訳]: 1,687 件[平成 21 年 9 月末現在の提供タイトル数] ◆コンテンツ増加量: 不明
利用者	◆ウェブアクセス数: 1,763 件/月(トップページへのアクセス数) ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: タイトル、著者名及び目次のキーワード入力他、タイトル及び著者名の 50 音順リストにより、資料を検索することができる。
構築	◆システム開発方法: 独自に開発 ◆構築予算: 2001 万円以上 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ: 国際子ども図書館開館(平成 12 年 5 月 5 日)における電子図書館機能の充実として ◆構築業務の担い手[委託内容]: ほとんど外部委託[画像 DB の構築] ◆コンテンツ作成費: 201 万円以上
運営	◆年間運営予算: 1001 万円以上 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]: 一部外部委託[システム保守]
技術	◆参考文献: 国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者: 職員 ◆準拠フォーマット: 独自の基準 ◆利用・提供用ファイル: JPEG ◆保存用ファイル: JPEG, TIFF ◆記録媒体: HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組: 他の部署が運営するデジタルアーカイブシステム機器への移行を予定している。このデジタルアーカイブシステム全体のなかで、画像データ等の長期保存を行う。
システム間連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: PORTA
■国際子ども図書館絵本ギャラリー (6 件目/6 件中) 公開年: 2000 年 URL: http://www.kodomo.go.jp/gallery/index.html 更新頻度: 年 1 回程度	
概要	絵本の発祥から 20 世紀までの発展の流れを、内外の貴重な絵本の画像や音声によりインターネット上で紹介している。 ◆コンテンツ総容量: 3.49GB ◆コンテンツ総件数[内訳]: 6,673 件[平成 21 年 9 月末現在の累積画像の点数] ◆コンテンツ増加量: 不明
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]: 4,562 件/月(トップページへのアクセス数)[新規コンテンツの公開時期(5 月)頃に多く利用されている] ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: Shockwave Player や FlashPlayer 等のソフトウェアを使うことにより、様々なマルチメディアコンテンツを提供している。
構築	◆システム開発方法: 独自に開発 ◆構築予算: 2001 万円以上 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ: 国際子ども図書館開館(平成 12 年 5 月 5 日)における電子図書館機能の充実として。 ◆構築業務の担い手[委託内容]: ほとんど外部委託[コンテンツ作製] ◆コンテンツ作成費: 201 万円以上
運営	◆年間運営予算: 1001 万円以上 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]: 一部外部委託[システム保守]
技術	◆参考文献: 国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者: 職員 ◆準拠フォーマット: 不明 ◆利用・提供用ファイル: PhotoShopData を Flash に読み込んだ状態のもの、PhotoShopData を Director に読み込んだ状態(読み込みオプションとして JPEG 圧縮付加)のもの、JPEG 画像 ◆保存用ファイル: PhotoCD ◆記録媒体: HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組: 画像データについては、サーバのハードディスク以外にも、DVD 等の媒体で保管している。 ◎課題・工夫点等: キーボードによるキーワード入力をしなくても、マウス操作により画像を選択できるようにしている。
システム間連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない

10 その他市町村区立

帯広市図書館

住所:080-0012 帯広市西 2 条南 14-3 開設年:2006 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 416,000 冊 職員総数(非常勤を含む):55 人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②広報活動 ③活動成果の普及
所蔵資料の 収録率	(0.01%未満)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0%(職員にて更新を行なうため、費用はかからない) ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:一般職員 ◆人材育成の取組:その他:現時点では、特に取組はしていない
権利処理	◆処理方法:その他:著作権の保護期間が切れているもののみデジタル化している ◆処理状況:その他:該当なし
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔帯広畜産大学にてデジタル化,図書館にて公開〕
その他 F.A.	—

【帯広市図書館・提供アーカイブ】

■中城ふみ子 (1 件目/8 件中)

公開年:2006 年 URL:<http://www.lib-obihiro.jp/> 更新頻度:その他(不定期・必要時)

概要	帯広出身の歌人である中城ふみ子の原稿,手紙,日記などを公開 ◆コンテンツ総容量:227MB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:41 件〔手紙 10,日記 2,ノート 5,短歌原稿 7,手帳 1,その他 16〕 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:他の 3 コンテンツを含めて 240 件/月〔大きな増減はなし〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け,アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:委託業者により構築 ◆構築予算:不明(システム化の予算に含んでいたため) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:新館開館に伴い,業務がシステム化されることとなったため ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔1 業者にデジタル化からシステム構築まで委託〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔現在,更新の必要がないため費用は生じていない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで,データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■郷土の地図 (2 件目/8 件中)

公開年:2006 年 URL:<http://www.lib-obihiro.jp/> 更新頻度:その他(不定期・必要時)

概要	帯広,十勝,北海道の古地図を公開 ◆コンテンツ総容量:3MB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:95 件〔地図 95 件〕 ◆コンテンツ増加量:10 件
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:他の 3 コンテンツを含めて 240 件/月〔大きな増減はなし〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け,アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HP 公開後,HTML にて職員が作成・追加 ◆構築予算〔理由〕:0 円〔職員が作成したため〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円〔帯広畜産大学にて作成していただいているもの〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔職員にて運営しているため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで,データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■絵葉書 (3 件目/8 件中)

公開年:2007 年 URL:http://www.lib-obihiro.jp/ 更新頻度:その他(不定期・必要時)

概要	帯広、十勝に関わる絵葉書を公開 ◆コンテンツ総容量:12MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:136 件 [絵葉書 136 件] ◆コンテンツ増加量:5 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:他の 3 コンテンツを含めて 240 件/月 [大きな増減はなし] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け、アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HP 公開後、HTML にて職員が作成・追加 ◆構築予算[理由]:0 円 [職員が作成したため] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [帯広畜産大学にて作成していただいているもの]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員が作成しているため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで、データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■図書館要覧 (4 件目/8 件中)

公開年:2006 年 URL:http://www.lib-obihiro.jp/ 更新頻度:年 1 回程度

概要	図書館要覧を毎年掲載している。 ◆コンテンツ総容量:4MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:6 件 [図書館要覧 6 件] ◆コンテンツ増加量:1 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:他の 4 コンテンツを含めて 280 件/月 [大きな増減はなし] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け、アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HP 公開後、HTML にて職員が作成・追加 ◆構築予算[理由]:0 円 [職員が作成したため] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [職員が作成したため]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員にて運営しているため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで、データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■パスファインダー (5 件目/8 件中)

公開年:2006 年 URL:http://www.lib-obihiro.jp/ 更新頻度:月 1 回程度

概要	職員にて作成している、特定のテーマについて調べるための書籍の紹介 ◆コンテンツ総容量:10MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:37 件 [パスファインダー37 件] ◆コンテンツ増加量:5 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:350 件/月 [大きな増減はなし] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け、アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HP 公開後、HTML にて職員が作成・追加 ◆構築予算[理由]:0 円 [職員が作成したため] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [職員が作成したため]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員にて運営しているため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで、データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■よむよむタイムズ (6 件目/8 件中)

公開年:2006 年 URL:http://www.lib-obihiro.jp/ 更新頻度:月 1 回程度

概要	職員にて作成している, 広報誌 ◆コンテンツ総容量:21MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:40 件 [よむよむタイムズ 40 件] ◆コンテンツ増加量:12 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:他の 4 コンテンツを含めて 280 件/月 [大きな増減はなし] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け, アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HP 公開後, HTML にて職員が作成・追加 ◆構築予算[理由]:0 円 [職員が作成したため] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [職員が作成したため]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員にて運営しているため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで, データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■食☆ナビ (7 件目/8 件中)

公開年:2006 年 URL:http://www.lib-obihiro.jp/ 更新頻度:月 1 回程度

概要	職員にて作成している, 広報誌 ◆コンテンツ総容量:15MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:41 件 [食☆ナビ 41 件] ◆コンテンツ増加量:12 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:他の 4 コンテンツを含めて 280 件/月 [大きな増減はなし] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け, アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HP 公開後, HTML にて職員が作成・追加 ◆構築予算[理由]:0 円 [職員が作成したため] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [職員が作成したため]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員にて運営しているため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで, データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■TEEN'S (8 件目/8 件中)

公開年:2007 年 URL:http://www.lib-obihiro.jp/ 更新頻度:その他(隔月に 1 回)

概要	職員にて作成している, 広報誌 ◆コンテンツ総容量:5MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:25 件 [TEEN'S 25 件] ◆コンテンツ増加量:6 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:他の 4 コンテンツを含めて 280 件/月 [大きな増減はなし] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:メニューバーに入り口を設け, アクセスしやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HP 公開後, HTML にて職員が作成・追加 ◆構築予算[理由]:0 円 [職員が作成したため] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [職員が作成したため]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員にて運営しているため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(デジタル化のみで, データベース化はしていない) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

苫小牧市立中央図書館

住所:053-0511 苫小牧市末広町3丁目1-15 開設年:1988年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書473,013冊 職員総数(非常勤を含む):22人

回答担当:管理係・奉仕係

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔緒についたばかり〕 ②広報活動 ③検索性の向上
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:一般職員が本を読む程度の独学で学習して携わっている ◆人材育成の取組:その他:特に何もしていない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,その他:今のところ当市の広報だけなので権利問題は発生しない ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【苫小牧市立中央図書館・提供アーカイブ】

■とまこまい市政だより (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/toshokan/oldkoho/sisei/sisei/index.html>

更新頻度:年1回程度

概要	昭和29年から昭和40年までの苫小牧市広報をスキャナーでPDF化したものを、図書館のホームページに掲載して、閲覧できるようにしている。 ◆コンテンツ総容量:7GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:360件〔とまこまい市政だより82号から449号まで、欠号あり〕※頁数にかかわらず1号を1件と数える ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:不明〔図書館ホームページへのアクセスは月7,000件ある〕 ◆館内等利用者数:0人 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館ホームページのトップに配置している。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔広報をスキャナーで読み込み、PDF化〕 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算[理由]:0円〔通常業務内〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:PDF, JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:今後の課題として考えているが具体的な計画、取組は未だなされていない。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

厚岸情報館

住所:088-1124 厚岸郡厚岸町宮園 1 丁目 1 開設年:1996 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 150,000 冊/所蔵品 0 点 職員総数(非常勤を含む):10 人

目的 〔達成状況〕	①— ②— ③—
所蔵資料の 収録率	—
運営予算	◆年間予算に占める割合:— ◆外部委託費が占める割合:—
人員	◆運営担当者:— ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:— ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況:—
その他 F.A.	—

【厚岸情報館・提供アーカイブ】

■名称なし(日鑑記マイクロフィルム画像) (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:http://www.town.akkeshi.hokkaido.jp/jouhoukan/local_n/nikkan.html

更新頻度:その他(町史の上巻を公開している)

概要	日鑑記 マイクロフィルム画像を JPEG 形式にしたデータ ◆コンテンツ総容量:0.2GB ◆コンテンツ総件数:1,755 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:町史担当者が作成したものを無償で譲り受けたデータ ◆構築予算[理由]:0 円 [既にある機器で対応できたので] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [既にある機器で対応できたので]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [構築等の予定がない] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:PDF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

川口市立中央図書館	
住所:332-0016 川口市川口 1 丁目 1-1 開設年:2006 年 設置母体:市町村区立 所蔵資料:蔵書 357,788 冊 職員総数(常勤のみ):36 人	
目的 〔達成状況〕	①広報活動 ②活動成果の普及 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:電算担当。多少の Web 制作技術を有するが、デジタルアーカイブの知識はない ◆人材育成の取組:その他:人材育成について現在考えていない ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブにする対象は、図書館広報に関わるコンテンツのみ対象としており、現在のところ、Web 技術の習得については、外部研修を受講するなど、人材の確保に努めているのが現状である。
権利処理	◆処理方法:その他:自機関作成の資料だけ ◆処理状況:その他:当館のデジタルアーカイブは、図書館だより等、自館作成に限っているため権利問題については、意見を持ちあわせていない(以下回答省略)
他機関との 連携	◆連携状況:不明
その他 F.A.	—

【川口市立中央図書館・提供アーカイブ】

■図書館だより, 図書館要覧, ブックリスト (1 件目/1 件中)	
公開年:2006 年 URL:http://www.kawaguchi-lib.jp/ 更新頻度:年数回程度	
概要	◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数(内訳):7 件〔図書館だより, 要覧, カレンダー, ブックリスト パスワードを使ったサービス, 外国語版利用案内, その他〕 ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページの見やすいところに配置。
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費(理由):0 円〔自館作成資料のため〕
運営	◆年間運営予算(理由):0 円〔自館作成資料のため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

野田市立興風図書館

住所:278-0035 野田市中野台 168-1 開設年:1921 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 320,000 冊 職員総数(非常勤を含む):19 人

目的 〔達成状況〕	①広報活動 ②活動成果の普及 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:HP 運用担当者が兼用。資格としては「情報セキュリティアドミニストレータ」 ◆人材育成の取組:担当職員の自主学習
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【野田市立興風図書館・提供アーカイブ】

■野田市立図書館電子資料室 (1 件目/1 件中)

公開年:2005 年 URL:<http://www.library-noda.jp/homepage/digilib/index.html> 更新頻度:年数回程度

概要	所蔵の和古書・錦絵・絵図などを紹介するもの ◆コンテンツ総容量:1.5GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:630 件〔和古書(書誌データと表紙などの画像のみ):405 点, 錦絵 174 点, 絵図 28 点, 市指定文化財 3 点〕 ◆コンテンツ増加量:0 件(一部を除き, 既に整理済み)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:正しい html でページを作るようにする。
構築	◆システム開発方法:その他:特に DB は使用していない ◆構築予算[理由]:0 円〔とくにアプリケーションを使っていないので〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔既存のものの公開と職員による撮影のため〕
運営	◆年間運営予算:0 円 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:担当職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

あきる野市中央図書館

住所:197-0804 あきる野市秋川1丁目16-2 開設年:2007年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書180,000冊 職員総数(非常勤を含む):28人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔脆弱性のある資料などをデジタル化することにより、資料の劣化が防止できている〕 ②新しい表現〔世代を超えて伝えていきたい情報が、インターネットを通じて広く発信できている〕 ③検索性の向上〔必要な情報を効率的に検索することができ、レファレンスや資料の研究に役立っている〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:2.7% ◆外部委託費が占める割合:17.3% ◎課題・工夫点等:運営予算の確保が困難になる状況下で、新コンテンツの作成費用の捻出が難しい。写真データ等の追加・修正を職員対応で行い、費用をかけずに運営する工夫をしている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:「図書館の地域資料担当者として、デジタルアーカイブの今後の展開を計画している。デジタルアーカイブの運用・更新を管理し、外部業者に資料のデジタル化などを発注している」「五日市憲法草案等の研究者として、既にデジタル化された資料や未整理の資料の研究を行い、その成果をデジタルアーカイブ上で公開している」「デジタルアーカイブに蓄積する新聞記事データを収集している」 ◆人材育成の取組:その他:特に行っていない ◎課題・工夫点等:現在は、図書館の地域資料担当者等の4名、嘱託2名が担当している。システムに関する深い知識を持つ人材の確保が難しい。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔3件/(切手・通話等通信費のみ)〕 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブサイト上で文章などのコピー&ペーストができないようにしている。また高精細な画像を提供しているが、印刷時には透かしが入るようにしている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	ソフトウェアについては、事業の継続性を確保するために汎用性の高いデータベースソフトを利用した。また、デジタルアーカイブサイトの管理画面からは、サイト内の各ページの文章・画像の編集が自由に行えるようになっており、自館で画像などの充実が図れるようにしている。詳細なアクセスログ解析ができるため、サイト訪問者の傾向を知ることができ、サイトの運営に生かしていくことができる。

【あきる野市中央図書館・提供アーカイブ】

■あきる野市デジタルアーカイブ (1件目/1件中)

公開年:2007年 URL:<http://archives.library.akiruno.tokyo.jp/> 更新頻度:年数回程度

概要	・あきる野市を知るために…あきる野市にまつわる人物や、自由民権運動に関する情報が読める。 ・あきる野市の写真館…五日市憲法草案の画像や、市内の文化財等の写真が見られる。 ・深沢家文書の検索…五日市憲法草案をはじめとする深沢家文書を分類やフリーワードから検索できる。 ・あきる野市の新聞記事検索…あきる野市や近隣の地域、図書館に関わる新聞記事を、キーワードや日付から検索できる。 ◆コンテンツ総容量:6.32GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:53,000件〔深沢家文書 約3,000点 新聞記事データ 約50,000点〕 ◆コンテンツ増加量:1,200件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:3,900件/月〔公開当初に比べアクセス数はやや減少してきているものの、サイト訪問者の60%以上が「お気に入り」に登録するなど、訪問者の満足度が高いことがうかがえる〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館や市のホームページからリンクをはっている。また、館内にデジタルアーカイブサイトを閲覧できる、データベース専用パソコンを設置し、自宅でインターネットの利用ができない市民に対しても情報を提供を行っている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算、自治体の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成18年度東京都総合交付金まちづくり振興割地域特選事業 ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔デジタルアーカイブサイトの作成、資料のデジタル化〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔資料のデジタル化作業〕
技術	◆参考文献:デジタルアーカイブ白書、デジタルアーカイブ要覧 ◆メタデータ作成者:自館の職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, PDF ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:サーバ上(ハードディスク)の他に CD-ROM メディアで保存している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

西東京市中央図書館

住所:188-0012 西東京市南町 5-6-11 開設年:1975 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 755, 277 冊 職員総数(非常勤を含む):69.7 人

回答担当:奉仕係

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②活動成果の普及 ③広報活動
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:スキル, 経験なし ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [—, 0 円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【西東京市中央図書館・提供アーカイブ】

■西東京市図書館刊行物 (1 件目/2 件中)

公開年:2002 年 URL:<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp/publication.html> 更新頻度:月 1 回程度

概要	自館作成刊行物を HP 上で公開, 配布用の在庫がなくとも公開が可能 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:74 件[各種刊行物のデジタル化されたバックナンバー] ◆コンテンツ増加量:27 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0 円 [HP 作成費用に含まれていた] ◆予算獲得のきっかけ:図書館 HP の開発 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:1~10 万円
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [担当職員がアップしているため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:広報担当 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—

■西東京市関連新聞記事 (2 件目/2 件中)

公開年:2008 年 URL:機関内一般公開 更新頻度:ほぼ毎日

概要	図書館システムの一部である「新聞記事管理」システムを使用。掲載日, 新聞名, 記事区分, 地域区分等から検索ができる。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:64, 500 件※A4 にスクラップした記事 1 枚を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:4, 700 件
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:CLIS400 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:51~100 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:地域行政資料担当 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:TIF ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:—

柏崎市立図書館

住所:945-0065 柏崎市学校町 2-47 開設年:1906 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 270,000 冊 職員総数(非常勤を含む):24 人

回答担当:サービス係

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔利用者が利用申込前に閲覧し、手続きが円滑に行われるようになった〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:特に専門的知識は有していない。 ◆人材育成の取組:— ◎課題・工夫点等:IT 関連に比較的詳しい職員が担当しており、人材の育成は行っていない。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:権利処理は行っていない ◎課題・工夫点等:問題意識はあるものの、どのように対処すべきかわからない状況です。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:他機関との連携は行っておらず、現在その予定もありません。
その他 F.A.	—

【柏崎市立図書館・提供アーカイブ】

■小竹コレクション絵葉書 (1 件目/1 件中)

公開年:2001 年 URL:<http://lib.city.kashiwazaki.niigata.jp/odake/odake.html> 更新頻度:その他(更新していない)

概要	小竹忠三郎が収集した絵葉書のうち、新潟県内のもの約 5,000 枚を地域別に閲覧できる。内容は明治・大正期の風景など ◆コンテンツ総容量:0.2GB ◆コンテンツ総件数:5,231 件 ※絵葉書 1 枚を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:画面構成はできるかぎり簡素にしている。
構築	◆システム開発方法:その他:外部委託 ◆構築予算:101~300 万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:電源地域の情報化推進のための補助金を活用した。 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔画像スキャン、データベース作成〕 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔構築予算の金額に含まれる〕
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔WEB サーバーの管理〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:例えば、画像スキャン時の解像度の設定に苦慮している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

長岡市立中央図書館

住所:940-0041 長岡市学校町1丁目2-2 開設年:1987年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書818,716冊 職員総数(非常勤を含む):45人

回答担当:奉仕係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔具体的な効果は不明〕 ②広報活動〔資料の貸出等の問い合わせが若干増えた〕 ③調査研究用〔原資料を見ずともデータで内容を簡単に確認できる〕
所蔵資料の 収録率	8%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.1% ◆外部委託費が占める割合:—
人員	◆運営担当者:その他:他部署(長岡市情報政策課) ◆人材育成の取組:その他:特にしていない ◎課題・工夫点等:現時点では人材の育成等までは考えていない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:研修等があれば、できるだけ職員を受講させている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:今のところ特に考えていない。
その他 F.A.	—

【長岡市立中央図書館・提供アーカイブ】

■ながおかネット・ミュージアム (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:<http://www.e-net.city.nagaoka.niigata.jp/museum/index.html> 更新頻度:年1回程度

概要	所蔵する貴重資料の画像・基本情報・解説など。主として上杉謙信・景勝・直江兼続・河井継之助の書など ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:125件〔軸物107件,謙信・景勝・兼続など16件,塵壺1件,求志洞遺稿1件〕※求志洞遺稿は一式を1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:1,500件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページのトップページに配置している。
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔制作〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:自館職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

小布施町立図書館（まちとしょテラソ）

住所:381-0297 上高井郡小布施町大字小布施 1491-2 開設年:1923 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 60,000 冊/所蔵品 20 点 職員総数(非常勤を含む):10 人

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔まずは第一歩という出だし〕 ②検索性の向上〔今年度中に第1弾を公開〕 ③資料の保存・管理〔上記に伴い整理中〕
所蔵資料の 収録率	(年度内にまず蔵書の80%をデータベースへアップする予定)
運営予算	◆年間予算に占める割合:17% ◆外部委託費が占める割合:60% ◎課題・工夫点等:高額の予算は、難しいと考えたので、まずは町民参加型の「デジタルアーカイブ勉強会」から始めた。そこについての予算はなく、全体の予算の中の講師謝礼という予算から講師招聘を行った。その勉強会の段階では、5年後を見据えた企画を提出、予算査定においても将来的なビジョンを説明し続けた。その後、館外のデジタルアーカイブに関するフォーラムなどに参加し、自らのスキルアップに努め、企画を進めた。そのような状況の中でデジタルアーカイブ勉強会では、まず行うことなどを提案、理事者に現実的な説明を行いながら、予算提案を行った。町長、副町長のデジタルアーカイブの重要さの認識が高かったことから、前向きに提案を扱ってくれた。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:・情報処理技術資格者を非常勤で採用。・館長の前職が、映像作家であり、在京キー局にて演出を行っていた経験があり、役立てている。また、準デジタルアーキビスト。・学芸員を採用。・プロ編集者である町民やプロの映像の編集者の方に、ボランティア活動をお願いしている。・一部、撮影協力の委託も行っている。◆人材育成の取組:専門家の指導 ◎課題・工夫点等: ・課題は、すべてのスタッフが兼務だということ。またデジタルアーカイブ事業は行っていないながらも、人件費は乏しく、非常勤のみの採用枠やボランティアに頼っている。 ・町民への説明にも苦労している。漠然と理解したようだが、やはり多少なりの完成版を示し、利用していただかないと価値が伝わらないことに戸惑い、焦りを感じることもある。 ・その中でも、町民による勉強会が発足していることは、大変勇気をいただく。まず、収集と公開ということを訴えているので、その言葉が伝わっている方もいる。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況(年間処理件数/費用):把握している〔4件/0円〕 ◎課題・工夫点等:図書や資料に関して、権利の確認を行っているが、はたしてそれが正しいのかという決め手に、不安を感じることもある。
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している〔国立情報学研究所連想情報学開発センターよりアドバイザーを招聘〕 ◎課題・工夫点等:今後、連想検索とのコラボを進めていくことを念頭に事業を進めたい。図書システムも連想検索やアーカイブに詳しい企業のシステムを導入した。
その他 F.A.	まずスタートしたばかりであるが、江戸時代に葛飾北斎をわが町に招いた人物、高井鴻山が収集した和本などの鴻山文庫を保有しているが、このアーカイブを開始したいと思っている。また、町史作成の際に使用した古写真なども所在調査も行っているが、公開へとつなげたい。特に、鴻山文庫に関しては、郷土史研究家との連携、古文書については、小布施町史料調査会、古文書の会との連携を考えている。いずれにしてもまちづくり、交流をテーマとするわが町の理念にそっていると考えている。

【小布施町立図書館・提供アーカイブ】

■小布施人百選（オーラルヒストリーによるアーカイブ）と連想検索 想とのコラボ（仮）（1件目/1件中） 公開年:2009 年 URL:— 更新頻度:—	
概要	小布施町を今日まで支えてこられた人(いろいろな分野の方のオーラスヒストリー)、決して役職的な選定でなく、その人の生き方に学ぶという観点を重要と考えている。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未公開(まだアップしていない) ◆館内等利用者数:館内未提供(準備中) ◆利用条件:— ◎課題・工夫点等:準備中なのでまだ不明
構築	◆システム開発方法:その他:委託による開発を検討 ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:その他:国からの交付金 ◆予算獲得のきっかけ:地域活性化・経済危機対策臨時交付金の中から予算がついた ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔アドバイザー、インタビュアー、コーディネーター〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:その他:交付金 ◆運営業務の担い手:内部の人材(準備について)
技術	◆参考文献:デジタルアーキビストに関する書籍 ◆メタデータ作成者:(これから作成) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:(検討中) ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD、DVD ◆長期保存のための取組:HD や DVD に保存と考えているが、そのフィルムやテープなど素材の劣化を防ぐ対策を心がけたい。 ◎課題・工夫点等:継続性が大切だということ、収集だけではなく、公開が大切だということを共有しながら進めたい。また、そこには、MLA 構想を念頭に置いて考えている。いずれにしてもまちづくりの大きな手段であり、未来への継承と考えている。
システム間連携	◆外部インターフェイス:その他:検討中 ◆連携システム:連携していない

大垣市図書館

住所:503-2418 大垣市室本町 5 丁目 51 開設年:1980 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 393,449 冊/所蔵品 36,941 点 職員総数(非常勤を含む):25 人

回答担当:図書第 2 係

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔ほぼ達成〕 ②活動成果の普及〔ほぼ達成〕 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:10% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して本システムの管理をしている ◆人材育成の取組:その他:とくになし
権利処理	◆処理方法:その他:当館が所蔵する資料のみアーカイブしている ◆処理状況:その他:権利処理なし
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【大垣市立図書館・提供アーカイブ】

■デジタルライブラリー画像データベース (1 件目/1 件中)

公開年:2005 年 URL:<http://www2.ocpl.ogaki.gifu.jp/webmuseum/collection/> 更新頻度:その他(固定)

概要	当館が所蔵する郷土の歴史的資料のうち、書、画、古地図などをデジタルアーカイブし、ホームページで閲覧可能にするもの ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:22 件 ※資料 1 タイトルを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:museteck ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館管理システムの更新 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [すでにデジタル処理済みであった] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:一般職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPG ◆保存用ファイル:JPG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

野洲図書館

住所:520-2315 野洲市辻町 410 開設年:2002 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 340,000 冊 職員総数(非常勤を含む):25 人

回答担当:奉仕担当

目的 〔達成状況〕	①新しい表現 ②検索性の向上 ③活動成果の普及
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:パソコン等の操作に多少慣れている程度 ◆人材育成の取組:その他:何もしていない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料,権利者との信頼関係 ◆処理状況:その他:該当事項なし
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【野洲図書館・提供アーカイブ】

■デジタル化資料 (1 件目/1 件中)

公開年:2006 年 URL:<http://www.library.hohoemi-yasu.jp/digital.html> 更新頻度:年 1 回程度

概要	滋賀県内の絵地図, 絵葉書, 航空写真など ◆コンテンツ総容量:100MB ◆コンテンツ総件数:207 件 ◆コンテンツ増加量:60 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:50 件/月 [横ばい] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0 円 [既存のものを使用] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [既存の機材を使用]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [既存のホームページを利用] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

川西市立中央図書館

住所:666-0033 川西市栄町 25-1 (アステ川西内) 開設年:1991 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 300,000 冊 職員総数(非常勤を含む):32 人

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔質・量ともに充分ではない〕 ②広報活動〔質・量ともに充分ではない〕 ③活動成果の普及〔質・量ともに充分ではない〕
所蔵資料の 収録率	0.003%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ運営については現行の予算およびシステムの中で運営している。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブに関する専門知識はなく、既存の環境の中でできる限りの運営をしている ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理, 権利者との信頼関係 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [8 件/0 円] ◎課題・工夫点等:利用の許諾を得られた郷土資料を中心にデジタル化を進めている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【川西市立中央図書館・提供アーカイブ】

■デジタル資料室 (1 件目/1 件中)

公開年:2009 年 URL:<http://www.library.city.kawanishi.hyogo.jp/> 更新頻度:年 1 回程度

概要	川西市郷土資料のうち利用の許諾を得たもののみ公開。資料の保存や Web 上での資料の利用を目的とするものではなく、所蔵資料の紹介のための手段として位置づけている。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:8 件〔書籍 8 冊〕 ◆コンテンツ増加量:3 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:現行のシステムを活用 ◆構築予算〔理由〕:0 円〔現行システムを活用〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:内部の職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

葛城市立新庄図書館

住所:639-2137 葛城市南藤井 70-1 開設年:1992 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 120,000 冊 職員総数(非常勤を含む):7 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔活動概要・内容を紹介する際に参照してもらっている〕 ②新しい表現〔学校等で学習に使用されている〕 ③広報活動〔未・非来館者からも問い合わせがある〕
所蔵資料の 収録率	0.06%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:今のところは予算化していない。拡大したいが、予算も人材も不足しており、現状維持に留まっている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:前職はプログラマ。デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して今では自分のできる範囲で運用している。 ◆人材育成の取組:その他:独学のみ ◎課題・工夫点等:外部専門機関等のセミナーや講習会等に参加してスキルを身につけたいが日常業務に追われ、セミナーや講習会を探して参加することができない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔7件/0円〕 ◎課題・工夫点等:公的機関として信用を得ていたことがスムーズな権利処理につながったと思う。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:今後視野に入れたい。
その他 F.A.	他機関からのリンクやダウンロードの申し込みがあった場合、どのようにするかをあらかじめ決めておいた。

【葛城市立新庄図書館・提供アーカイブ】

■民話紙芝居葛城の昔ばなし(web 版) (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:http://library.city.katsuragi.nara.jp/web_kamisibai/index.html

更新頻度:その他(当分の間は更新なし)

概要	葛城市に伝わる民話を紙芝居化し、それをデジタル化した。 ◆コンテンツ総容量:5MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:8 件〔紙芝居 8 点〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算、支援団体の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:自治体の合併・新市誕生による合併記念事業として。 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔今のところは更新の予定がないから〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG, TIFF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:人材の育成が課題。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

金光図書館

住所:719-0111 浅口市金光町大谷 320 開設年:1943 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 230,000 冊 職員総数(非常勤を含む):16 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔新たな資料研究者が来館してきている〕 ②資料の保存・管理〔一部実物を出さずに対応ができるようになった〕 ③広報活動〔よくわからない〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:現状では、予算的な措置のないまま、職員の空いた時間を使用して気が付いたところから作成している。もう少し体系的な視点をもった作業が必要と考える。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:資格等はないが、コンピューターに関する一般的な知識を持っている ◆人材育成の取組:その他:取り組みができていない ◎課題・工夫点等:必要なのだが、そのほかの課題や作業が多く、片手間に行っているのが現状である。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【金光図書館・提供アーカイブ】

■ギャラリー (1 件目/3 件中)

公開年:2003 年 URL:<http://www.konkokyo.or.jp/konko-library> 更新頻度:その他(不定期)

概要	本館所蔵資料を撮影し、保存閲覧できるようにするとともに、その一部をウェブで紹介 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:1,000 件 ※1 資料を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:50 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:既存の画像加工ソフト ◆構築予算[理由]:0 円〔図書館システムを利用しているものだから〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔館内の職員で作成〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔館内の職員で作成〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:HTML ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:HD のミラー化
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■所蔵特殊資料 (2 件目/3 件中)

公開年:2003 年 URL:<http://www.konkokyo.or.jp/konko-library> 更新頻度:年数回程度

概要	本館所蔵資料の中で特殊なものの資料名をリスト化し、ウェブで公開 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:トップページからすぐにジャンプできるよう配慮。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:HP 作成ソフト ◆構築予算:1~100 万円(図書館システムを利用しているものだから) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔館内の職員で作成〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔館内の職員で作成〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:HTML ◆保存用ファイル:DB ファイル ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:HD のミラー化
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■声の図書館 (3 件目/3 件中)

公開年:一年 URL:機関内限定公開(職員のみ) 更新頻度:ほぼ毎日

概要	金光教教師・信奉者の講話をデジタル化して保存し、CD による貸出で提供 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:500 件 ◆コンテンツ増加量:200 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:図書館システム ◆構築予算[理由]:0 円〔図書館システムを利用しているものだから〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔館内の職員で作成〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔館内の職員で作成〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:WAVE ◆保存用ファイル:MP3, WAVE ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:HD のミラー化
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

熊野町立図書館

住所:731-4214 安芸郡熊野町中溝 1 丁目 17-1 開設年:2005 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 73,000 冊 職員総数(非常勤を含む):7 人

回答担当:熊野町教育委員会教育部生涯学習課

目的 〔達成状況〕	①二次利用・貸出〔町外(県外)者への資料提供ができた〕 ②検索性の向上〔自機関職員のレファレンス資料として活用しやすくなった〕 ③広報活動〔自機関の活動を知らせている〕
所蔵資料の 収録率	0.027%(19 冊÷70,000 冊)
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:その他:特に担当者はいない ◆人材育成の取組:その他:特にしていない
権利処理	◆処理方法:権利者との信頼関係(郷土資料のみ) ◆処理状況:その他:なし
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【熊野町立図書館・提供アーカイブ】

■熊野町立図書館 デジタル熊野 (1 件目/1 件中)

公開年:2005 年 URL:<http://www.lib.town.kumano.hiroshima.jp/> 更新頻度:月 1 回程度

概要	熊野町の郷土資料と行政広報誌 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数(内訳):19 件〔図書 18 冊, 広報 1 点 (毎月発行)〕 ◆コンテンツ増加量:— (広報のみ)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:・アーカイブへの入口をホームページトップへ置く ・検索機能を付ける
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明(図書館建設と合わせ他の IT 関連整備を一本で契約したため内訳の詳細が不明) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費(理由):0 円〔一般の職員が Web に資料をアップできるようにシステムを構築し, コピー機を使用し, PDF ファイルを作成し, Web にアップした〕
運営	◆年間運営予算(理由):0 円〔構築時「コンテンツ作成費」と同様〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員(書名しか入力していない) ◆準拠フォーマット:— ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

愛荘町立愛知川図書館

住所:529-1313 愛知郡愛荘町市 1673 開設年:2000 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 182, 459 冊 職員総数(非常勤を含む):7 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔問い合わせが増加し, ある程度達成できた〕 ②新しい表現〔充分とはいえない(改善できる)〕 ③二次利用・貸出〔資料の提供につながり, ある程度達成できた〕
所蔵資料の 収録率	5%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:その他:他の部署の者が担当している ◆人材育成の取組:その他:なし
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:資料収集段階で町史編さん室と協同で許諾を得た。書面で許諾を得ているが, 原資料(一次資料)の持ち主が世代交代した場合や, 編さん室がなくなった後の処理方法に課題がある。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【愛荘町立愛知川図書館・提供アーカイブ】

■①町のこしカード Web 版 ②えちがわ歴史写真館 (1 件目/1 件中)

公開年:①2003 ②2004 年

URL:①<http://www.town.aisho.shiga.jp/machinokoshi/> ②<http://www.town.aisho.shiga.jp/shashin/>

更新頻度:①年 1 回程度 ②その他(していない)

概要	カードで登録されている町の情報を HP でも見られるようにしたもの。写真館は当館所蔵写真 (S40 ごろ) の一部を公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数(内訳):195 件〔「写真館」にのせている写真数〕 ◆コンテンツ増加量:0.5 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:館内に掲示している(利用案内)。
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:町の HP 作成に伴い構築された ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔不明〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔運営に費用はかかっていない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:CDR, DVD でいつまで保存可能か不安を持っている。
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

11 都道府県立

秋田県立図書館

住所:010-0952 秋田市山王新町 14-31 開設年:1899 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 726, 610 冊 職員総数(非常勤を含む):44 人

回答担当:企画・広報班

目的 〔達成状況〕	①新しい表現 ②検索性の向上 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	0.1%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:定期的なデータ変換費用を図書館システムの中で確保。
人員	◆運営担当者:他部署の者 ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理, 著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔地元新聞社と新聞記事索引(図書館作成)で調印〕
その他 F.A.	—

【秋田県立図書館・提供アーカイブ】

■秋田県立図書館デジタルライブラリー (1 件目/1 件中)

公開年:1996 年 URL:<http://www.apl.pref.akita.jp/> 更新頻度:年 1 回程度

概要	古文書, 動画民話音声, 絵図, 索引データベース, 雑誌画像データベース ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:画像は, jpeg と jpeg2000 の両方で提供
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:社会教育施設情報化活性化事業 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:1001 万円以上 ◆予算の出所:国の補助金 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔データ入力〕
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, JPEG2000, Real Media(rm), Real Media(ra) ◆保存用ファイル:TIFF, デジタルテープ, DAT ◆記録媒体:MO, CD-ROM ◆長期保存のための取組:マイグレーション
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

福島県立図書館

住所:960-8003 福島市森合字西養山1 開設年:1929年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書800,000冊 職員総数(非常勤を含む):37人

回答担当:資料情報サービス部地域資料チーム

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔原資料の保存性が向上した〕 ②広報活動〔当館の代表的な地域関係貴重資料を紹介することができた〕 ③—
所蔵資料の 収録率	0.00001% (蔵書数約80万冊, アーカイブ収録件数11点)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.0005% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:毎年度予算での増額が大変厳しいため,緊急経済対策の補助金活用を考えている。
人員	◆運営担当者:その他:地域資料を中心としたアーカイブのため担当部署の職員 ◆人材育成の取組:その他:具体的な取組なし ◎課題・工夫点等:人材育成のため専門知識を習得する機会の必要性は感じている。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:権利処理が発生しない資料を中心に行っている。 ◎課題・工夫点等:当面権利処理の発生しない資料を中心に行っていきたい。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【福島県立図書館・提供アーカイブ】

■デジタルライブラリー (1件目/1件中)

公開年:2000年 URL:http://www.library.fks.ed.jp/ippan/degital/degital_lib.html 更新頻度:年1回程度

概要	地域資料を中心とした貴重資料の画像公開 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:11件〔錦絵, 写真, 古地図〕 ◆コンテンツ増加量:数年で1件
利用者	◆ウェブアクセス数:370件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:画像に説明を加え,わかりやすさを心がけている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0円〔ホームページ作成時コンテンツの1つとして構築した〕 ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔ホームページ作成時データのアップを委託〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:担当分野の司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

茨城県立図書館

住所:310-0011 水戸市三の丸1丁目5-38 開設年:1903年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書801,722冊 職員総数(非常勤を含む):53人

回答担当:情報資料課

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔ほぼ毎日掲載資料へアクセスがあり画像ではあるが貴重書の提供回数が激増した〕 ②広報活動〔不明〕 ③資料の保存・管理〔不明〕
所蔵資料の 収録率	0.004%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:貴重資料画像化事業が予算減で、出来なくなっている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学でホームページやメタデータについて勉強し、立ち上げた ◆人材育成の取組:その他:取り組みはしていない
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:権利処理作業は発生せず ◎課題・工夫点等:著作権に関しては問題が無い古文書史料のみを公開している。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔NDL-PORTA〕
その他 F.A.	自己 HP のみの公開で終わらない為に、NDL-PORTA との連携を行った。

【茨城県立図書館・提供アーカイブ】

■茨城県立図書館デジタルライブラリー (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/digital_lib/digital_lib_main.html

更新頻度:年1回程度

概要	茨城県立図書館所蔵の貴重資料の画像 ◆コンテンツ総容量:121MB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:33件〔全て貴重資料画像〕 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:309件/月〔2009年6月期に341セッションを記録後、減少傾向に入り、2009年9月に248セッションを記録。だがその後は持ち直し、2009年11月には307セッションを記録〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:①NDL-PORTA と連携し、PORTA 経由の利用を狙った ②HTML 記述で SEO を講じた
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館の電算化事業及び新館建築事業と併せた形で予算がついた ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔貴重資料の撮影及びデジタル化〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔全体のHP運営費の中で運用し、アーカイブだけの予算は無い〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:Porta 共通仕様及び連携に関するガイドライン ◆メタデータ作成者:司書資格を持つ館内情報システム担当部署所属の一般行政職 ◆準拠フォーマット:NDLメタデータ ◆利用・提供用ファイル:SID ◆保存用ファイル:SID ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:提供画像を教育、個人利用目的で使用する場合は、文化庁設定の著作権の“自由利用マーク”を各画像説明ページ内に入れ込んだ。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

埼玉県立浦和図書館

住所:330-0063 さいたま市浦和区高砂 3 丁目 1-22 開設年:1922 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 468, 649 冊 職員総数(非常勤を含む):41 人

回答担当:企画担当

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔郷土資料について江戸期までデジタル化を達成した〕 ②二次利用・貸出〔ウェブサイトで公開してから、外部（テレビや博物館での使用）からの問い合わせが増えた〕 ②新しい表現〔ウェブサイトで公開してから、外部（テレビや博物館での使用）からの問い合わせが増えた〕
所蔵資料の 収録率	0.005%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブの運営予算が経費として計上されておらず、緊急雇用対策事業等を活用してデジタル化を進めている。
人員	◆運営担当者:その他:通常の業務の一環として、資料の担当課職員が運用している ◆人材育成の取組:その他:特段の人材育成は行っていない。 ◎課題・工夫点等:資料のデジタル化については外部に発注しているが、web への掲載・運用については、通常の業務の一環となっている。人材については、比較的にパソコン操作に慣れている職員が当たっているが、そのスキルアップについては個人に委ねられている。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔彩の国ビジュアルプラザに画像データを提供している〕
その他 F.A.	—

【埼玉県立浦和図書館・提供アーカイブ】

■埼玉県立図書館デジタルライブラリー (1 件目/1 件中)

公開年:2005 年 URL:https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/data/d_conts/index.html 更新頻度:年 1 回程度

概要	貴重書・絵図については江戸期のもの。明治期の雑誌、大正期の図書を公開している。 ◆コンテンツ総容量:3GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:76 件〔貴重書(和書・錦絵など)52 点、絵図 11 点、図書・雑誌 13 タイトル〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:2,500 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:H16 年度緊急雇用対策事業による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔デジタルアーカイブとしての予算はなし〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:(データベース化されていない) ◆準拠フォーマット:(メタデータとしては記述されていない) ◆利用・提供用ファイル:PDF, SID, JPEG ◆保存用ファイル:TIFF, JPEG2000 ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

千葉県立中央図書館

住所:260-8660 千葉市中央区市場町 11-1 開設年:1924 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 854, 991 冊 職員総数(非常勤を含む):40 人

回答担当:調査課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔公開した資料は担当以外の職員にも周知され、利用者へ紹介されている。また出版者からの問い合わせも寄せられる〕 ②新しい表現〔メールレファレンスの回答に利用している。より実用的な利用について技術的に研究検討する必要がある〕 ③資料の保存・管理〔ホームページやマイクロフィルムを利用することで、元の資料の保存に役立っている〕
所蔵資料の 収録率	0.04%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.17% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:現在は、前年度と同程度の予算を確保できている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:「資料の森」は平成 18 年度の図書館システムリプレイスの一環として開発された。現担当者は簡易なマニュアルと事務引継を基に、前任者に、また技術的な事項については専門業者に照会して運営している ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:特別な人材育成・確保は行っていない。外部の専門機関等のセミナーに参加することはできるが、担当者がカウンター業務や研修会事業などをかけもちしているため、参加できていない。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:該当なし ◎課題・工夫点等:現在は、当館所蔵で著作権が切れている資料の中から選定してデジタル化している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:東京都立中央図書館を視察した。外部委託している部分が多いことが分かり参考になった。
その他 F.A.	千葉県に関する資料の中から、国立国会図書館で公開している資料と重複しない資料の中から利用頻度も考慮してデジタル化している。

【千葉県立中央図書館・提供アーカイブ】

■資料の森 (1 件目/1 件中)

公開年:2007 年 URL:<http://www.library.pref.chiba.lg.jp> 更新頻度:年数回程度

概要	千葉県立中央図書館で所蔵する貴重書の中から錦絵や絵地図、南総里見八犬伝関係資料や房総数学文庫など、主に千葉県に関する資料を、江戸時代の和書だけでなく明治期の資料を含め公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:348 件 ◆コンテンツ増加量:116 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:1,150 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:解題や内容細目を付して、検索エンジンで探されやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:それまで、県立 3 館ばらばらであった電算システムを、平成 19 年 2 月に統合した際に、ホームページの構成や内容を見直し、リプレイスしていく中で予算化した ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔マイクロ撮影、デジタル化〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:担当課の職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:国立国会図書館など他の機関でデジタル化されている資料については、対象資料としていない。デジタル化された複製の利用が、原本の保存に有効と思われる。資料がより利用しやすいよう、自館での提供方法及び所蔵館以外での利用方法などにおいて、技術面と運用面で、検討する必要がある。 ◎課題・工夫点等:公開した画像が閲覧しづらく改良が望まれている。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

東京都立中央図書館

住所:106-8575 港区南麻布 5-7-13 開設年:1973 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 1,660,000 冊 職員総数(非常勤を含む):146.5 人

回答担当:管理部企画経営課

目的 〔達成状況〕	①新しい表現 ②資料の保存・管理 ③広報活動
所蔵資料の 収録率	4.2%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:100%(デジタルコンテンツを作成するにあたり、委託して撮影している費用のみ予算化されている(人件費は含めない))
人員	◆運営担当者:その他:定期的な人事異動で配置される職員。知識は特に問わない。 ◆人材育成の取組:その他:特別な育成は行っていない。
権利処理	◆処理方法:その他:順次デジタル化を行っているが、著作権があると思われるものは公開していない。 ◆処理状況:その他:費用をかけていない。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【東京都立中央図書館・提供アーカイブ】

■貴重資料画像データベース (1 件目/2 件中)

公開年:2000 年 URL:<http://www.library.metro.tokyo.jp/1v/1v009.html> 更新頻度:年数回程度

概要	浮世絵、江戸城造営関係資料(重要文化財)、和漢書(草双子、武鑑) ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:11,000 件〔浮世絵:10,381 件、江戸城造営関係資料:646 件、和漢書:314 件〕 ◆コンテンツ増加量:1,000 件(画像数)/年
利用者	◆ウェブアクセス数:107,000 件(今年度の月平均)〔アクセス数は年々増加している〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:デジタル化している資料について、特別な知識をお持ちでない方から、研究者まで、幅広い層に利用されるよう、詳細検索と、検索せずブラウジングして見ることができる機能と、両方を用意している。
構築	◆システム開発方法:その他:他機関の協力により開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:ホームページのサイト開発費として付いた。3 種類のデータベースを同時に構築した ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔撮影〕 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔他機関との協力による開発のため〕
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:自館職員(司書) ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD、DVD ◆長期保存のための取組:原資料をスチールフィルム、マイクロフィルムで撮影し、それをデジタルデータ化している。フィルム類は永久保存する予定である。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■特別コレクション (2 件目/2 件中)

公開年:2000 年 URL:<http://www.library.metro.tokyo.jp/1v/1v009.html> 更新頻度:年数回程度

概要	当館が所蔵する貴重書と都立多摩図書館が所蔵する貴重書を紹介。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:3,600 件 ◆コンテンツ増加量:30 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:図書館のホームページ内 ◆構築予算:不明(ホームページの一部なので、このアーカイブだけの費用は算出不能) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔すでに画像があるものを活用、もしくは自前で撮影〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔特別な費用をかけずにやっている〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:自館の職員(司書) ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:その他:なし ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

神奈川県立図書館

住所:220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘 9-2 開設年:1954 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 764,984 冊 職員総数(非常勤を含む):99 人

回答担当:調査部協力課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②広報活動 ③新しい表現
所蔵資料の 収録率	0.02%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:特になし,ホームページを作成できる程度 ◆人材育成の取組:その他:育成計画なし
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【神奈川県立図書館・提供アーカイブ】

■電子図書館 (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/materials/digital_library.htm

更新頻度:その他(既に刊行済みの資料で更新不要)

概要	神奈川県に関する浮世絵, 図書館の刊行物 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:85 件〔浮世絵 82 点, 入門グレートブックス 1 冊, グレートワークス 1 冊, 戦時文庫 1 冊〕 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:25,000 件/月〔今年度は横浜開港 150 周年のため急増〕 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他 ◆構築予算[理由]:0 円〔職員が作成〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔職員が作成〕
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:— ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, GIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

新潟県立図書館

住所:950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1-2 開設年:1915年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書700,965冊 職員総数(非常勤を含む):32人

回答担当:業務第2課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔郷土資料の画像公開により、レファレンスにも役立っている〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	0.001%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:デジタルデータ作成のための予算が平成18年度のみであったため、その後公開資料を増やすことが難しい状況である。
人員	◆運営担当者:その他:ホームページ担当者が兼務している(簡単な修正等のみ) ◆人材育成の取組:その他:特に取組なし ◎課題・工夫点等:必要な人員の確保に至っていない。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:著作権フリーの資料にデジタル化を限定しているため処理が発生していない ◎課題・工夫点等:今後処理が必要な資料を扱う際の課題として認識している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:デジタル化した画像のみの提供のため、現状のままの連携は難しいと思われる。
その他 F.A.	作成当時検索機能などを付与しなかったため、今後の課題と考えられるが現在は着手に至っていない。

【新潟県立図書館・提供アーカイブ】

■越後・佐渡デジタルギャラリー (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/shiryu/digital_gallery.html

更新頻度:その他(アップ後、修正のみ)

概要	新潟県関係資料の中から、『佐渡州物産』など、見て楽しめる画を主とした資料を紹介している。 ◆コンテンツ総容量:126MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:4件〔書籍5冊(うち上・下巻1組あり)〕 ◆コンテンツ増加量:0件(増加していない)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページのトップページに入口を常駐している。
構築	◆システム開発方法:その他:ホームページによる画像公開のみ ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:県立図書館ルネサンス事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔デジタルデータおよびHP搭載データ作成〕 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算[理由]:0円〔日常のメンテナンス(HP)のみ〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:郷土資料担当職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, MO, CD-ROM ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:検索機能の追加と新しいデータの作成
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

富山県立図書館

住所: 930-0115 富山市茶屋町 206-3 開設年: 1940 年 設置母体: 都道府県立

所蔵資料: 蔵書 770, 000 冊/所蔵品 292 点 職員総数(非常勤を含む): 34 人

回答担当: 普及課

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔タイトルや解説からも検索できるようになり、検索効率が飛躍的に向上した〕 ②資料の保存・管理〔閲覧が原因による原本の劣化が防止できるようになった〕 ③二次利用・貸出〔県内や全国各地から電子化資料の利用や問い合わせが増加した〕
所蔵資料の 収録率	0.5%
運営予算	◆年間予算に占める割合: 0.01% ◆外部委託費が占める割合: 100% (今年度は機器保守管理料のみ) ◎課題・工夫点等: ・これまでの電子化、システム構築はほとんど国の緊急雇用交付金等で行ったが、職員の負担も大きく、今後の新たな電子化については未定。 ・公開用システムの機器更新費用については、財政状況悪化のため、調達するメドがたっていない。
人員	◆運営担当者: 知識の少ない職員、他部署の者 ◆職員のスキル等: 現担当者は司書資格所有。デジタルアーカイブ関連業務の連絡調整等を担当(導入時・更新時と現担当者は異なる) ◆人材育成の取組: セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等: 当館ではアーカイブする資料(主に郷土資料)に関する知識や、それをどのように体系化してみせるかを重要と考えており、デジタルアーカイブ技術に関しては外部業者の力を借りている。
権利処理	◆処理方法: 著作権フリー資料 ◆処理状況[年間処理件数/費用]: 把握している [0 件/0 円] ◎課題・工夫点等: 権利処理の負担がかからない当館所蔵の貴重資料について電子化を行ってきた。今後の電子化についても同様に行いたいと考えている。
他機関との 連携	◆連携状況: 連携していない ◎課題・工夫点等: 現在は大学等で公開している同様の郷土古文書のデータベースへリンクを貼っている程度だが、もう少し連携できないか考えたい。
その他 F.A.	かつて富山版インターネットアーカイブ(県内の自治体や公的機関の HP 収集)を構想したが断念した。膨大な経費のほか、収集や提供の体系的な課題も大きかった。また著作権・肖像権のクリアも大きなネックとなっていた。WARP など国立国会図書館の取り組みに大いに期待している。

【富山県立図書館・提供アーカイブ】

■富山県立図書館 古絵図・貴重書ギャラリー (1 件目/1 件中)

公開年: 1999 年 URL: <http://www.lib.pref.toyama.jp/> 更新頻度: その他(現在は行っていない)

概要	富山県立図書館に所蔵する貴重資料と富山県の各地域にわたる絵図などをデジタル画像で提供 ◆コンテンツ総容量: 98.5GB ◆コンテンツ総件数[内訳]: 3,568 件〔文書・絵図等〕 ◆コンテンツ増加量: 344 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]: 1,728 件/月〔年々着実に増加している〕 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: 当館 HP のトップページに「古絵図・貴重書ピックアップ」として主な資料の画像を解説付きで紹介(毎月自動更新)。
構築	◆システム開発方法: 独自に開発 ◆構築予算: 2001 万円以上 ◆予算の出所: 自前の予算、国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ: ・平成 10 年度富山県立図書館リニューアルオープン事業として ・平成 16 年度緊急雇用対策事業として、システムを更新し、コンテンツも倍増した。 ◆構築業務の担い手[委託内容]: ほとんど外部委託〔システム構築、電子化作業〕 ◆コンテンツ作成費: 201 万円以上
運営	◆年間運営予算: 101~300 万円 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]: 一部外部委託〔システム機器保守管理〕
技術	◆参考文献: 不明 ◆メタデータ作成者: 司書等 ◆準拠フォーマット: 独自の基準 ◆利用・提供用ファイル: TIFF ◆保存用ファイル: TIFF ◆記録媒体: HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組: 保存用として CD-ROM, DVD を作成し、利用ファイルと別途に書庫に保存している。また将来媒体変換が必要となっても対応できるよう、高精細画像での電子化を行っている。 ◎課題・工夫点等: 高精細画像を提供するため、高精細画像閲覧ソフト Zooma (TRIIS Solution 製)を導入している。(画像の拡大・縮小や、表示箇所のスクロールなども可能)
システム間連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: D-navi

県立長野図書館

住所:380-0928 長野市若里 1 丁目 1-4 開設年:1929 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 669,000 冊 職員総数(非常勤を含む):35 人

回答担当:企画部情報統計課

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上 ②新しい表現 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:95.1% ◎課題・工夫点等:予算の確保が非常に難しい状況だが、国の経済対策の事業を有効に活用することで事業を進めることができた。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:各担当者が、研究会、独学で知識を習得し、システム構築、デジタル化は業者委託（予定含む） ◆人材育成の取組:専門家の指導、セミナー等に派遣。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理（一部）、著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルアーカイブに関する連携組織に加入している〕 ◎課題・工夫点等:当初から研究会を立ち上げ、MLA 連携を進めている。今後連携機関を増やしていくことをめざしている。
その他 F.A.	—

【県立長野図書館・提供アーカイブ】

■長野県デジタルアーカイブ推進事業（1 件目/1 件中）

※準備中

公開年:2010 年(予定) URL:(Web 公開予定) 更新頻度:月 1 回程度(予定)

概要	県立歴史館、県立図書館、県立美術館の所蔵品をはじめ、各種映像記録、県民からの提供を含め、幅広いデータを収録（予定） ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:600 件(予定)〔行政文書、郷土資料等（映像記録は除く）〕 ◆コンテンツ増加量:600 件/年(予定)
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:その他:業者委託（予定） ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成 21 年度地域 ICT 利活用推進事業として ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:— ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:— ◆予算の出所:— ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:—
技術	◆参考文献:— ◆メタデータ作成者:複数の担当職員による研究会 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:JPEG, WMV ◆保存用ファイル:JPEG, PDF, AVI, MPEG ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:複数媒体で保存、今後適宜書き換え
システム間連携	◆外部インターフェイス:SRU(予定), OpenSearch, OpenURL, OAI-PMH, その他:Z39. 50 ◆連携システム:連携していない

静岡県立中央図書館

住所:422-8002 静岡市駿河区谷田 53-1 開設年:1925 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 660,000 冊 職員総数(非常勤を含む):42 人

回答担当:調査課一般調査係

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔県民に情報を提供している〕 ②資料の保存・管理〔原資料の保存と貴重書の公開のバランスを保っている〕 ③—
所蔵資料の 収録率	30%(貴重書のうち)
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明(人件費を除く場合は 13.6%) ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:運用・更新等のシステム管理は外部業者に発注している ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理, 著作権フリー資料 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している[1 件/0 円] ◎課題・工夫点等:・デジタル化複製物の管理取扱要領を定めている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	・デジタル蔵書の作成は旧職員を構成員とする「蔵書の会」の協力を得た。 ・浮世絵データベース作成は東京大学史料編纂所の協力を得た。 ・古地図の「世界四大洲新地図帳」の書誌情報などについて京都大学教授の協力を得た。

【静岡県立中央図書館・提供アーカイブ】

■デジタルライブラリー (1 件目/1 件中)

公開年:2004 年 URL:<http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/library/index.html>

更新頻度:その他(システム更新に伴い, 段階的にアップ)

概要	貴重書(蔵書・久能文庫), 特別取扱資料, 富士山の資料, 静岡県史 ◆コンテンツ総容量:500GB ◆コンテンツ総件数:5,634 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:来年度移行予定の新システムでは, OPAC からデジタルライブラリーへ URL によるリンクを検討している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Lics-Web (S) ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成 9~11 年度「社会教育施設情報化・活性化推進事業」(文部省委嘱) ◆構築業務の担い手[委託内容]:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1001 万円以上(システム管理費全体) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔システム全体で管理〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, TIF F ◆保存用ファイル:PDF, TIF ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:デジタル化とマイクロ化に資料保存を併行して進めている
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

愛知芸術文化センター愛知県図書館

住所:460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目9-3 開設年:1959年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 966,000 冊 職員総数(非常勤を含む):75人

回答担当:総務課企画グループ

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②二次利用・貸出〔利用や取材等の問合せを受けるようになった〕 ③検索性の向上〔ウェブ上で探しやすくなった〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:— ◎課題・工夫点等:予算は構築時のみ確保(ただし、絵はがきは構築時でも予算なし)
人員	◆運営担当者:その他:特に担当者はいない ◆人材育成の取組:その他:特に取組んでいない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理(名古屋タイムズ),著作権フリー資料(絵図・絵はがき) ◆処理状況:その他:名古屋タイムズのみ権利処理を行った。費用負担なし
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	ウェブ公開にあたって無許諾利用の防止(印刷制御)に配慮した。

【愛知芸術文化センター愛知県図書館・提供アーカイブ】

■愛知県図書館所蔵 絵図の世界 (1件目/3件中) 公開年:2003年 URL: http://www.aichi-pref-library.jp/gazou/search/index.html 更新頻度:その他(予定なし)	
概要	本館所蔵の愛知県地域に関係する江戸時代の古絵図、明治時代の手書き絵図が一部を除き閲覧できる。 ◆コンテンツ総容量:115GB ◆コンテンツ総件数:998件 ◆コンテンツ増加量:0件(増加なし)
利用者	◆ウェブアクセス数:570件(平成20年度) ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページのトップページからアクセスできるようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:インターネット配信ソフト「Gigaview」を利用して独自開発 ◆構築予算:2001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成14年度緊急地域雇用創出特別基金を活用して ◆構築業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔撮影、デジタル化、HP作業等〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算(理由):0円〔機器リース経費は図書館電算システム費と一括になっているため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館の司書 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, GVJ (Gigaview形式) ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:長期保存のために、デジタルデータの作成に先立ってマイクロ化を行なっている。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■愛知県図書館所蔵 絵はがきコレクション (2件目/3件中) 公開年:2009年 URL: http://www.aichi-pref-library.jp/chiki/ehagaki/index.html 更新頻度:その他(随時)	
概要	本館所蔵の愛知県関係の絵はがきが閲覧できる。 ◆コンテンツ総容量:0.06GB ◆コンテンツ総件数:53件※1セット(複数枚入)を1件と数える ◆コンテンツ増加量:0件(増加なし)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページのトップページからアクセスできるようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:HTML ◆構築予算(理由):0円〔すべて職員が行っているため〕 ◆構築業務の担い手(委託内容):一部外部委託〔撮影、デジタル化、HP作業等〕 ◆コンテンツ作成費(理由):0円〔すべて職員が行っているため〕
運営	◆年間運営予算(理由):0円〔機器リース経費は図書館電算システム費と一括になっているため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館の司書 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■名古屋タイムズ (3 件目/3 件中) 公開年: 2003 年 URL: 機関内一般公開 更新頻度: その他(今年度予定)	
概要	名古屋タイムズ紙は昭和 21 年から刊行されたこの地域唯一の夕刊一般紙である。愛知県図書館が所蔵分を中心に、欠号部分や破損部分を名古屋タイムズ社や他館所蔵分で補い、創刊号から平成 13 年末までをアーカイブ化した。 ◆コンテンツ総容量: 139GB ◆コンテンツ総件数: 18,704 件 ◆コンテンツ増加量: 0 件(増加なし)
利用者	◆ウェブアクセス数: web 未公開 ◆館内等利用者数: 4 人/月(平成 20 年度) ◆利用条件: 一部有料(プリントアウト代/プリントアウト 1 枚あたり 20 円)
構築	◆システム開発方法: 不明 ◆構築予算: 1001~2000 万円 ◆予算の出所: 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ: 平成 14 年度緊急地域雇用創出特別基金を活用して ◆構築業務の担い手[委託内容]: ほとんど外部委託〔撮影, デジタル化, H P 作業等〕 ◆コンテンツ作成費: 201 万円以上
運営	◆年間運営予算[理由]: 0 円〔機器リース経費は図書館電算システム費と一括になっているため〕 ◆運営業務の担い手: 内部の人材
技術	◆参考文献: ない ◆メタデータ作成者: 当館の司書 ◆準拠フォーマット: 独自の基準 ◆利用・提供用ファイル: PDF ◆保存用ファイル: TIFF ◆記録媒体: HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組: マイクロ化
システム連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない

大阪府立中央図書館

住所:577-0011 東大阪市荒本北1丁目2-1 開設年:1996年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書1,770,000冊 職員総数(非常勤を含む):100人

回答担当:企画協力課振興係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②資料の保存・管理〔出版掲載などの利用が増加した〕 ③新しい表現
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:コンピューター・サイエンス一般 ◆人材育成の取組:その他 ◎課題・工夫点等:作成の都度、情報収集に務めているのが現状。体系的な人材育成が課題。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔80件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【大阪府立中央図書館・提供アーカイブ】

■デジタル画像 フランス百科全書 図版集 (1件目/3件中)

公開年:2004年 URL:<http://www.library.pref.osaka.jp/lib/fhyakka.html>

更新頻度:その他(更新は行っていない)

概要	大阪府立中央図書館所蔵の貴重書フランス百科全書<図版集>に収録される3,000枚のデジタル画像 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:3,000件〔銅版画3,000枚〕 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算〔理由〕:0円〔既存のHPサーバーに載せているため〕 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔画像データ、HPデータ作成〕 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔更新していないため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(メタデータはない) ◆準拠フォーマット:不明(フォーマットはない) ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:TIFF, JPEG ◆記録媒体:CD-ROM, その他:マイクロフィルム ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■19世紀 薬用植物の世界 (2件目/3件中)

公開年:2007年 URL:<http://www.library.pref.osaka.jp/plantae/index.html> 更新頻度:その他(更新は行っていない)

概要	大阪府立中央図書館所蔵の貴重書薬用植物図譜“Plantae officinales, oder, Sammlung officineller Pflanzen” のデジタル画像 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算〔理由〕:0円〔既存のHPサーバーに載せているため〕 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔画像データ、HPデータ作成、マイクロフィルム作成〕 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔更新していないため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:業者(メタデータはない) ◆準拠フォーマット:不明(フォーマットはない) ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル: TIFF, JPEG ◆記録媒体:CD-ROM, その他:マイクロフィルム ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■大阪府立中央図書館発行資料（総称：個々にページを持っているため）（3 件目/3 件中）
 （a.要覧/中之島, b.紀要, c.ほんだな〜こどもの本のリスト, d.WEB 版ヤングアダルト YA!YA!YA!,
 e.大阪府立中央図書館メールマガジンバックナンバー）

公開年：一年

URL：a:http://www.library.pref.osaka.jp/lib/tokeikisoku.html, b:http://www.library.pref.osaka.jp/lib/kiyo.html,
 c:http://www.library.pref.osaka.jp/kodomo/hondana-index.html,
 d:http://www.library.pref.osaka.jp/cgi-bin/benriyan/display_yayaya.cgi,
 e:http://www.library.pref.osaka.jp/central/mm_back.html

更新頻度：その他（a～c：年に1回, d：年に数回, e：月に2回）

概要	要覧, 紀要, ほんだな〜こどもの本のリスト, WEB 版ヤングアダルト YA! YA! YA!, 大阪府立中央図書館メールマガジンバックナンバー ◆コンテンツ総容量:0.1GB ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:10～50 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0 円 [既存の HP サーバーに載せているため] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:0 円
運営	◆年間運営予算:0 円 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:(メタデータはない) ◆準拠フォーマット:不明(フォーマットはない) ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:未使用 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

大阪府立中之島図書館

住所:530-0005 北区中之島 1-2-10 開設年:1904 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 544,990 冊 職員総数(非常勤を含む):55 人

回答担当:企画情報課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔非来館での資料の活用が拡大した〕 ②資料の保存・管理〔デジタル化により、資料の継続的保存・管理に資することとなった〕 ③検索性の向上〔検索性が向上し、探している資料にたどりつくことが容易になった〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:アーカイブの構築の際には予算がついたが、現在は構築が完了しており、資料の追加については、職員が随時操作することになっている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員、他部署の者 ◆職員のスキル等:和古書の担当部署に配属された職員が、システムの操作マニュアルにしたがいつつ、他の部署の前任者等のアドバイスを受けながら、資料の追加を行っている ◆人材育成の取組:その他:特にできていない ◎課題・工夫点等:適切なセミナーや講習会があれば参加しているが、カウンター業務をしながらの運営で、人間的に厳しく、なかなか参加できていない。また、アーカイブの維持管理についてのハード面での予算がつけられておらず、システムリプレイスが行われると、データの更新・追加等ができなくなるものもある。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:著作権フリーの資料 ◎課題・工夫点等:基本的に著作権フリーの資料をデジタル化し、公開することになっている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔大阪府の運営する「大阪府文化資産デジタルアーカイブ」にデータ提供している〕 ◎課題・工夫点等:文化資産を超高精細のデジタル画像データとして保存することにより、府民共有の貴重な文化資産を後世に残すとともに、国内外の研究者に向けた学術資料の公開、さらには大阪の文化についての理解を深める情報発信源となることを目指している。
その他 F.A.	他機関の所蔵していない特徴的なコレクションの保存と公開、検索の利便性等に特に留意しているところである。

【大阪府立中之島図書館・提供アーカイブ】

■錦絵にみる大阪の風景 (1 件目/6 件中)

公開年:2003 年 URL:<http://fukeiga.library.pref.osaka.jp/> 更新頻度:その他(随時)

概要	江戸時代後期から明治初期にかけて、大阪を中心に数多くの上流浮世絵師が活躍し、役者絵や風景版画にその業績を遺し、また、江戸で活躍する浮世絵師も、商都浪花の繁栄ぶりや名所・旧跡に心を寄せ、様々な風景版画を描いている。そこで、大阪府立中之島図書館が所蔵する幕末・明治の錦絵など大阪風景版画を収録・公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:250 件〔錦絵 250 点〕 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・検索エンジン (Yahoo! JAPAN) への登録 ・メールマガジン等で、収録されているコンテンツを紹介する
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:通信・放送機構 (TAO: 総務省所管の特殊法人、平成 16 年 4 月から独立行政法人「情報通信研究機構 (NICT)」へ統合) による、通信放送分野の研究開発事業「大阪府マルチメディア・モデル図書館展開事業」の一環として ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔撮影、デジタル画像作成、システム構築〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔随時職員がデータをアップしていくことになっている〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:司書 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG, TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■人魚洞文庫データベース (2 件目/6 件中) 公開年: 2006 年 URL: http://ningyodo.library.pref.osaka.jp/ 更新頻度: その他(事業完了)	
概要	大正から昭和にかけて全国各地の郷土玩具を描いたおもちゃ絵画家・川崎巨泉(1877-1942)が遺した自筆写真画帳をデジタル化し、一般公開。川崎巨泉は大阪で活躍した絵画家。 ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]: 112 件〔書籍 112 冊〕 ◆コンテンツ増加量: 0 件
利用者	◆ウェブアクセス数: 不明 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: ・検索エンジン(Yahoo!JAPAN)への登録・メールマガジン等で、収録されているコンテンツを紹介する
構築	◆システム開発方法: 独自に開発 ◆構築予算: 不明 ◆予算の出所: 国の補助金、自治体の補助金 ◆予算獲得のきっかけ: 通信・放送機構(TAO:総務省所管の特殊法人、平成 16 年 4 月から独立行政法人「情報通信研究機構(NICT)」へ統合)による、通信放送分野の研究開発事業「大阪府マルチメディア・モデル図書館展開事業」の一環としてシステム構築。画像データは、緊急雇用対策事業等により作成 ◆構築業務の担い手[委託内容]: 一部外部委託〔デジタル画像作成、システム構築〕 ◆コンテンツ作成費: 不明
運営	◆年間運営予算[理由]: 0 円〔コンテンツの掲載が全て完了した〕 ◆運営業務の担い手: 内部の人材
技術	◆参考文献: ない ◆メタデータ作成者: 司書 ◆準拠フォーマット: 独自の基準 ◆利用・提供用ファイル: JPEG ◆保存用ファイル: JPEG, PDF ◆記録媒体: HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組: —
システム連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない
■貴重書画像データベース (3 件目/6 件中) 公開年: 2007 年 URL: http://rarebooks.library.pref.osaka.jp/ 更新頻度: その他(随時)	
概要	中之島図書館の所蔵する貴重書の一部について、そのマイクロフィルムをデジタル化して、一般公開。 ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]: 360 件〔書誌 360 件〕 ◆コンテンツ増加量: 0 件
利用者	◆ウェブアクセス数: 不明 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: ・メールマガジン等で、収録されているコンテンツを紹介する。
構築	◆システム開発方法: 独自に開発 ◆構築予算: 不明 ◆予算の出所: 自前の予算、国の補助金、自治体の補助金 ◆予算獲得のきっかけ: 通信・放送機構(TAO:総務省所管の特殊法人、平成 16 年 4 月から独立行政法人「情報通信研究機構(NICT)」へ統合)による、通信放送分野の研究開発事業「大阪府マルチメディア・モデル図書館展開事業」の一環としてシステム構築。画像データは、緊急雇用対策事業および委託費で作成 ◆構築業務の担い手[委託内容]: 一部外部委託〔デジタル画像作成、システム構築〕 ◆コンテンツ作成費: 不明
運営	◆年間運営予算[理由]: 0 円〔随時職員がデータをアップしていくことになっている〕 ◆運営業務の担い手: 内部の人材
技術	◆参考文献: ない ◆メタデータ作成者: 司書 ◆準拠フォーマット: 独自の基準 ◆利用・提供用ファイル: GIF ◆保存用ファイル: GIF, PDF, TIFF ◆記録媒体: HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組: —
システム連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない
■館報なにわづ (4 件目/6 件中) 公開年: 2004 年 URL: http://rarebooks.library.pref.osaka.jp/ 更新頻度: 年 1 回程度	
概要	当館発行の広報誌。紙媒体で発行していたものを当館ホームページからも閲覧・ダウンロードできるようにした。 ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]: 11 件〔132 号～142 号(最新号)〕※各号を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量: 1 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数: 不明 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等:ホームページ上で探しやすいように配置している。
構築	◆システム開発方法: パッケージ利用:ホームページ・ビルダー ◆構築予算[理由]: 0 円〔業務として職員がしたので〕 ◆構築業務の担い手: 内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]: 0 円〔職員が作成したので〕
運営	◆年間運営予算[理由]: 0 円〔通常業務として職員がしている〕 ◆運営業務の担い手: 内部の人材
技術	◆参考文献: ない ◆メタデータ作成者: 司書 ◆準拠フォーマット: 独自の基準 ◆利用・提供用ファイル: HTML ◆保存用ファイル: — ◆記録媒体: HD ◆長期保存のための取組: —
システム連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない

■要覧 (5 件目/6 件中) 公開年:2008 年 URL:http://rarebooks.library.pref.osaka.jp/ 更新頻度:年 1 回程度	
概要	当館の各年度の予算・利用状況・サービス実績・蔵書などの広報。紙媒体で発行していたが、2008 年からはデータベースからの閲覧・ダウンロードとなった。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:2 件※年度ごとを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:1 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページ上で探しやすいように配置している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:ホームページ・ビルダー ◆構築予算[理由]:0 円〔業務として職員がしたので〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔職員がしたので〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔通常業務として職員がしている〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:司書 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, HTML ◆保存用ファイル:未使用 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■紀要 (6 件目/6 件中) 公開年:2006 年 URL:http://rarebooks.library.pref.osaka.jp/ 更新頻度:年 1 回程度	
概要	1 号 (1964 年 12 月刊) ～38 号 (最新号) までの紀要。内容は、論文、当館所蔵資料の翻刻、資料紹介等。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:38 件※1 号を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:1 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・ホームページ上で探しやすいように配置している ・検索エンジン (Yahoo!JAPAN) への登録
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:ホームページ・ビルダー ◆構築予算[理由]:0 円〔業務として職員がしたので〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔職員がしたので〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔通常業務として職員がしている〕 ◆運営業務の担い手:—
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:司書 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, HTML, 点字データ (BES 形式) ◆保存用ファイル:未使用 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

奈良県立図書情報館

住所:630-8135 奈良市大安寺西 1 丁目 1000 開設年:2005 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 515,000 冊 職員総数(常勤のみ):47 人

回答担当:図書・公文書グループ, 総務・企画グループ

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔現物の出納を減らすことができている〕 ②二次利用・貸出〔Web ページ公開で資料の視認性が向上したため, 資料の利活用が増大している〕 ③新しい表現〔Web ページ公開で資料の視認性が向上したため, 資料の利活用が増大している〕
所蔵資料の 収録率	0.1～0.2%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1.3% ◆外部委託費が占める割合:1.3% ◎課題・工夫点等:他団体の助成金の積極的な活用
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:情報システム担当職員(専任)が複数名おり, 郷土資料の担当や目録担当職員と連携しながら, デジタルアーカイブのデータ・コンテンツ作成やシステム更新等事業を進めている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:いわゆる図書館資料(コピー資料)ではない文書館や博物館のアーカイブズ的資料(史料)の取扱いやこれらのメタデータの取り方などに苦労している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理, 専門家等に相談, 自機関のみ限定利用 ◆処理状況:その他:権利処理の事案が発生していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルアーカイブに関する連携組織に参画している(慶応大 DAF)〕 ◎課題・工夫点等:類縁機関との意見交換, 先進的な事例のキャッチアップ。
その他 F.A.	プレゼンスの向上。個々のコンテンツをより多くの人に知っていただく, あるいは使っていただくために, 視認性を向上させること。そのために, 外部検索サービスとの連携や外部ポータルサービスとの連携をより深化させること。

【奈良県立図書情報館・提供アーカイブ】

■郷土資料論文抜刷データベース (1 件目/5 件中)

公開年:2005 年 URL:機関内一般公開(web 公開予定) 更新頻度:週 1 回程度

概要	館所蔵の郷土関係の学術論文の抜刷のデータベース ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:2,300 件 ◆コンテンツ増加量:50～100 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:外部検索サービスとの連携や外部ポータルサービスとの連携。館(内)の資料検索サービスとの横断検索。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:XooNips ◆構築予算:1～100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:経常経費の範囲内 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:1～10 万円
運営	◆年間運営予算:1～100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:DC ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:DVD(経年劣化)の再作成 ◎課題・工夫点等:自前ですべてをデジタル化するのではなく, リンクリゾルバ等を利用し, 本文情報, 所蔵情報へのナビゲートを予定している。(デジタル化はどこかがしていればよいという前提)
システム連携	◆外部インターフェイス:OpenURL, OAI-PMH ◆連携システム:CiNii, 自館の図書館パッケージシステム

■絵図展示ギャラリー (2 件目/5 件中) 公開年: 1997 年 URL: http://www.library.pref.nara.jp/gallery/ezu/ 更新頻度: 月 1 回程度	
概要	館所蔵の古絵図データベース ◆コンテンツ総容量:5GB ◆コンテンツ総件数:300 件 ◆コンテンツ増加量:20~30 件
利用者	◆ウェブアクセス数:15,000~20,000 件/月 ◆館内等利用者数:不明(ウェブアクセス数を含む) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:外部検索サービスとの連携や外部ポータルサービスとの連携。館(内)の資料検索サービスとの横断検索。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:RICOH LIMEDIO ◆構築予算:不明(当該システムは館情報システム発注の一部であるため、金額の特定は無理) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:平成 11~16 年度緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託[資料撮影, デジタル化] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:DC ◆利用・提供用ファイル:JPEG, DjVu ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:DVD(経年劣化)の再作成 ◎課題・工夫点等:JPEG2000 への対応
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA, 自館の図書館パッケージシステム
■ふるさとデジタル化書籍一覧 (3 件目/5 件中) 公開年: 2006 年 URL: http://opacsvr02.library.pref.nara.jp/mylimedio/dirsearch/dirsearch.do?dirid=furusato 更新頻度: 年数回程度	
概要	館所蔵の貴重書籍のデータベース ◆コンテンツ総容量:5GB ◆コンテンツ総件数:14 件※書誌レベルの件数で、多巻物、シリーズ物はまとめて 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:15,000~20,000 件/月 ◆館内等利用者数:不明(ウェブアクセス数を含む) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:外部検索サービスとの連携や外部ポータルサービスとの連携。館(内)の資料検索サービスとの横断検索。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:RICOH LIMEDIO ◆構築予算:不明(当該システムは館情報システム発注の一部であるため、金額の特定は無理) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:平成 11~16 年度緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託[資料撮影, デジタル化] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:DC ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:DVD(経年劣化)の再作成 ◎課題・工夫点等:JPEG2000 への対応
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA, 自館の図書館パッケージシステム

■所蔵古文書一覧 (4 件目/5 件中)

公開年:2007 年 URL:<http://opacsvr02.library.pref.nara.jp/mylimedio/dirsearch/dirsearch.do?dirid=komonjo>

更新頻度:ほぼ毎日

概要	館所蔵の古文書のデータベース ◆コンテンツ総容量:5GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:50 件〔文書群(fonds)レベルの件数, 文書(item)レベルでは, 2~3 万件程度〕 ◆コンテンツ増加量:数件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:50,000 件/月 ◆館内等利用者数:不明(ウェブアクセス数を含む) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:外部検索サービスとの連携や外部ポータルサービスとの連携。館(内)の資料検索サービスとの横断検索。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:RICOH LIMEDIO ◆構築予算:不明(当該システムは館情報システム発注の一部であるため, 金額の特定は無理) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:新県立図書館建設(準備)事業として ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:DC, EAD ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:DVD(経年劣化)の再作成 ◎課題・工夫点等:JPEG2000 への対応
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA, 自館の図書館パッケージシステム, 国立公文書館デジタルアーカイブシステム(予定)

■奈良地域史料目録 (5 件目/5 件中)

公開年:2007 年 URL:<http://www2.library.pref.nara.jp/nlmc/> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	奈良県地域の史料の紹介や研究, 史料を翻刻したものや影印で複製した書(誌), 史料の目録掲載書(誌)のデータベース ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数:10,000 件 ◆コンテンツ増加量:2,000~3,000 件
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:70,000~80,000 件/月〔登録件数に比例して, 漸増している〕 ◆館内等利用者数:不明(ウェブアクセス数を含む) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:外部検索サービスとの連携や外部ポータルサービスとの連携。館(内)の資料検索サービスとの横断検索。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:XooNIps ◆構築予算:不明(当該システムは館情報システム発注の一部であるため, 金額の特定は無理) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:経常経費の範囲内 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:MODS, EAD ◆利用・提供用ファイル:JPEG, PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:DVD(経年劣化)の再作成 ◎課題・工夫点等:JPEG2000 への対応。自前ですべてをデジタル化するのではなく, リンクリゾルバ等を利用し, 本文情報, 所蔵情報へのナビゲートを予定している(デジタル化はどこかがしていればよいという前提)。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OpenURL, OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, CiNii, 自館の図書館パッケージシステム

岡山県立図書館	
住所:700-0823 岡山市北区丸の内2丁目6-30 開設年:2004年 設置母体:都道府県立	
所蔵資料:蔵書 907,077冊 職員総数(非常勤を含む):71人	
回答担当:メディア・協力課メディア班	
目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔平成16年9月から稼働後、約8万件のコンテンツが蓄積された〕 ②検索性の向上〔地図、年代からの検索が可能になった〕 ③活動成果の普及〔映像コンテストの応募作品のストリーム配信〕
所蔵資料の 収録率	(約1%未満)
運営予算	◆年間予算に占める割合:2% ◆外部委託費が占める割合:19.8%
人員	◆運営担当者:新規採用、知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:システムの保守に関しては業者委託としているため、担当者はシステム全体の管理運営を行うだけであり、特段の専門性は必要としていない。また、コンテンツの作成は岡山県立図書館内にメディア工房というデジタルコンテンツを制作できる施設と専門スタッフ(嘱託職員)が常駐しているので、新たに担当職員になった場合でも、負担は最小限度で、無理なくスキルを身につけられる体制となっている ◆人材育成の取組:その他:「県民参加型のデータベース」として、ビデオ制作講座等を開催している ◎課題・工夫点等: ・「県民参加型」として運営しているが、コンテンツの内容に偏り(例えば岡山城・後樂園)が生じている。県内全域からの情報提供をどうやって進めていくかが課題の一つ。 ・「図書館」で情報発信しているので、県機関等が発刊した蔵書資料等をデジタル化して公開したり、オリジナルの「デジタル絵本」を制作・公開している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、その他:県民からの提供情報は、必ず提供者が権利許諾を得るように運営している ◆処理状況:その他:自館作成以外は要許諾。原則無料のみ
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔博物館等からデータベース(URL付き)の提供を受けている 等〕 ◎課題・工夫点等:できるだけ自動連携できるようにするため、OAI-PMH等の技術を活用している。
その他 F.A.	—

【岡山県立図書館・提供アーカイブ】

■電子図書館システム デジタル岡山大百科 (1件目/1件中)	
公開年:2004年 URL: http://www.libnet.pref.okayama.jp/mmhp/	
更新頻度:その他(時季によって、ばらつきがあるが平均すれば、週2〜3回程度)	
概要	「電子図書館システム」なのでデジタルアーカイブするためだけのシステムではなく、「岡山県図書館横断検索システム」、「レファレンスデータベース」、「郷土情報ネットワーク」の三つの機能に大別される。このうち、郷土情報ネットワークがデジタルアーカイブの機能を担うが、本システムは「公開すること」を前提としているため、公開しないコンテンツを本システムに保存することは今のところ行っていない。館内資料の保存はマイクロフィルム化等で別途実施している。また、岡山に関する情報を県民参加型で実施していることも大きな特徴である。 ◆コンテンツ総容量:1.2GB ◆コンテンツ総件数:80,000件 ※1メタデータ(目録情報)を1件と数える ◆コンテンツ増加量:16,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:8,000件/月〔平成16年9月から本格稼働後しており、コンテンツ数の増加に伴い、年々アクセス数は増えていると思われる。傾向としては、当館のホームページ講座等のイベント実施後(大百科から公開後)にアクセスが増える傾向が見られる〕 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブをメインにするか、公開をメインにするかで、考え方は変わってくると思うが、当館のように「公開」をメインにする場合、「画面の構成・使いやすさ」が大きなポイントになると思われる。また、今後はGoogle等の検索エンジンとの連携も「利用者拡大」という観点では重要になってくると思われる。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:InfoLib ◆構築予算:2001万円以上(デジタル岡山大百科全体(3機能全体)の経費) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:新県立図書館(平成16年9月開館)のコンセプトの一つに「メディアセンターとしての図書館」を掲げており、その象徴的な機能として「デジタル岡山大百科」の構築が進められたため。 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔館内の古文書等のデジタル画像制作等〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システムの保守・メンテナンス〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:担当職員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコアベース ◆利用・提供用ファイル:PDF, GigaViwe, Djvu, Jpeg 等, WMV, RealPlayer形式 等, WMA, デジタル絵本>Flash形式 ◆保存用ファイル:TIFF, Mpeg, AVI ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:DVDやCDは劣化して読み込めなくなる可能性があり、またHDDでは故障すると全コンテンツを消失する可能性があるため、館内の絵図・和装本・昔の雑誌等をアーカイブする場合は、マイクロフィルム撮影を行い、そのフィルムをデジタル画像化して公開している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA

福岡県立図書館

住所:812-8651 福岡市東区箱崎 1 丁目 41-12 開設年:1918 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 710,000 冊 職員総数(非常勤を含む):53 人

回答担当:郷土資料課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔原本に替わる便利な閲覧・利用手段になった〕 ②検索性の向上〔掲載内容をリスト化することで検索しやすくなった〕 ③広報活動〔貴重資料等を所蔵していることを PR できた〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:独自の予算は計上していない。運営費の中で実施。資料費の中の委託料で、自館では撮影できない大型絵図等のデジタルデータを作成している。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築等の経験はないが、独学で学習して、コンテンツの作成や管理を行なっている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:現状では、担当になった職員の努力によって、スキルを身につけている。専門知識やスキルを持った人材の確保が課題である。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他 ◎課題・工夫点等:著作権の切れた資料をデジタル化しており、郷土資料には該当する資料が多数あるので、現段階では特に問題はない。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔コンテンツの作成等で協力〕 ◎課題・工夫点等:貴重資料等で関連した資料を所蔵する大学のアーカイブと連携することで、利用者の利便性を向上することができた（書誌的事項や時系列での資料比較が可能）。
その他 F.A.	限られた人員と予算の中で、平成 9・10 年度文部省委託事業で作成した郷土の近世絵図の CD-ROM や、撮影フィルム等をもとに、デジタルコンテンツを年間 1 種類程度追加しながら、デジタルライブラリを構築している。

【福岡県立図書館・提供アーカイブ】

■デジタルライブラリ（1 件目/1 件中）

公開年:2000 年 URL:<http://www.lib.pref.fukuoka.jp/degital> 更新頻度:年 1 回程度

概要	当館所蔵の貴重資料・郷土資料の画像を紹介 貴重資料:『筑前国産物帳・絵図帳』『シーボルトコレクション』『福岡県の近世絵図』等 郷土資料:明治以降の福岡市街図、絵葉書でみる福岡百景等 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:230 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:1,279 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:デジタルライブラリの入口を複数設ける。
構築	◆システム開発方法:その他:当館のホームページに貴重資料の図版紹介ページを設けた ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:特に予算はついていない ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔図書館全体予算に含まれる〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:内部の人材 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF, JPEG ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:保存と利用のために 2 組作成している。また、再生機器の変化に速やかに対応するため、撮影したフィルムを保存している ◎課題・工夫点等:絵図等、データの容量が大きくなる資料については、解像度の高いマスターデータ（TIFF 形式 1～3GB）を作成し、閲覧用、インターネット掲載用の JPEG 形式 5MB のデータも併せて作成している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:九州大学デジタルアーカイブ

宮崎県立図書館

住所:880-0031 宮崎市船塚3丁目210-1 開設年:1902年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書650,000冊 職員総数(非常勤を含む):46人

回答担当:情報提供課郷土情報担当

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔デジタルアーカイブで公開と現物資料の保存の両立が可能になった〕 ②検索性の向上〔デジタルアーカイブに公開することにより、資料検索が容易になった〕 ③新しい表現〔アーカイブに載せてないものの閲覧については、本館でDVDで閲覧できる〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ上に掲載する貴重書のデジタル化を5年間かけて進めている(21年度が初年度)。デジタル化にあたり、まずマイクロフィルムを作成してからDVD化をする。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員、他部署の者 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブの知識は少ないが、他の部署のシステムの詳しい者にアドバイスしてもらいながら業務を進めている ◆人材育成の取組:その他:特に人材育成のプログラムはない ◎課題・工夫点等: ・デジタルアーカイブに関わる人材については、専門職員の確保は難しいため、担当した職員自らスキルアップを図るようにしている。 ・全職員を対象としたWebシステムの操作研修会の中で指導を受けている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、権利者との信頼関係 ◆処理状況:その他:所蔵または寄託しているもののみをデジタル化するため権利費用は発生しない。 ◎課題・工夫点等:権利問題に関しては、所蔵・寄託があるが、閲覧の許可等は本館でできるようになっている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:現在、国立国会図書館 PORTA との検索等について、検討中である。
その他 F.A.	・画面構成は利用者が見やすいものに工夫した。 ・更新にあたっては本館職員が行うため、知識が乏しい職員でもできるように平易な操作にしている。

【宮崎県立図書館・提供アーカイブ】

■貴重書デジタルアーカイブ (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/DigitalArchiveWeb/DigiArcMenu.do> 更新頻度:年数回程度

概要	本館が収蔵している古文書のうち、貴重なものについて、その文書の一部を公開している。 ◆コンテンツ総容量:146GB ◆コンテンツ総件数:1,500件 ※1つの項目を1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明(初年度の為、平均は出せない)
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:400件/月〔本年度より公開しているので半年ぐらいであるが、多いときは500人、少ないときで300人台前半ぐらいである〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブへの入口を、ホームページ上の見やすい位置に配置する。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:iLiswing/uxt ◆構築予算:不明(図書館システム更新時に同時に行った) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館システムの更新事業の一環として行った。 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔担当職員と業者が打ち合わせしながら作成〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明(システムと同一契約のため) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:デジタルアーキビスト入門 ◆メタデータ作成者:本館職員(デジタルデータ化は外部委託) ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG, PDF ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:デジタル化と平行して、マイクロフィルムを作成して、長期保存するように計画している。 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブを作成するときに、アーカイブの知識が乏しい職員でも入力できる簡易なシステムにした。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

横浜市中央図書館

住所:220-0032 横浜市区老松町1 開設年:1994年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書1,550,000冊 職員総数(非常勤を含む):91人

回答担当:企画運営課,調査資料課調査係

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔来館できない人への情報提供ができ,また情報が一覧できた〕 ②資料の保存・管理〔ウェブ上で見られることにより,資料の保存・管理が図られた〕 ③検索性の向上〔必要な資料を多くの資料の中から容易に捜せるようになった〕
所蔵資料の 収録率	0.5%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.06% ◆外部委託費が占める割合:100%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:データ登録,修正を職員が行い,システム全体の保守は外注している ◆人材育成の取組:その他:特に何もしていない
権利処理	◆処理方法:その他:横浜市が著作権を保有している資料及び著作権保護期間が経過した資料を対象として公開している ◆処理状況:その他:権利処理の必要ない資料のみを対象としている ◎課題・工夫点等:著作権・所有権等の権利について問題のないもののみ公開している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	公開後の追加・更新は職員が行うことができるように設計・構築した。

【横浜市中央図書館・提供アーカイブ】

■都市横浜の記録 (1件目/1件中)

公開年:2005年 URL:http://memories.lib.city.yokohama.jp/cats/index.html 更新頻度:その他

概要	活字資料から地図や浮世絵などの画像資料まで,横浜開港期から今日に至るまでの資料を横浜関連資料として公開している。 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:72,400件〔書籍,地図,浮世絵,絵葉書,年表事項,索引事項,目次事項など〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:2001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:・図書館に来られない人にも図書館の保有する資料を容易に提供できる方法を検討したことによる ・平成15年度及び16年度 緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔データベース設計・構築〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システムの保守〕
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:郷土資料担当者 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, SID, djv ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

大阪市立中央図書館

住所:550-0014 大阪市西区北堀江 4 丁目 3-2 開設年:1961 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 1,710,000 冊 職員総数(非常勤を含む):121 人

回答担当:企画・情報担当 (情報システム担当)

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔Web 公開している資料を、公開画像を確認して来館する利用者が増加した〕 ②検索性の向上〔検索性の向上により、資料の利用者が増加した〕 ③資料の保存・管理〔汚破損の激しい資料について、出納することなく利用者に提供できている〕
所蔵資料の 収録率	0.68%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブの運営予算については、運営自体が図書館情報ネットワークシステム運用保守経費の中でされているため、特にわかれていない。デジタルアーカイブのためのデータを新たに作成する費用については、別途予算要求の上、作成業者に委託する。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員、知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して今では全体を管理する立場として、図書館情報ネットワークシステムの運用保守業者と相談、または新規データ作成業務を外部業者に発注している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブを含むネットワークシステムを担当する人材を専任的に長期で配置していないため、異動に伴う後任者への知識や経験の継承や短期での人材育成についての課題がある。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、著作権フリー資料、自機関のみ限定利用 ◆処理状況(年間処理件数/費用):把握している [0 件/0 円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:連携の話があるようだが、内容・時期ともに未定 (PORTA の件)
その他 F.A.	—

【大阪市立中央図書館・提供アーカイブ】

■大阪市立図書館イメージ情報データベース (1 件目/1 件中)

公開年:2001 年 URL:http://www.oml.city.osaka.jp/cgi-bin/img_src/index.cgi 更新頻度:年 1 回程度

概要	大阪関係・大阪関係以外の貴重書 (おおむね明治期以前のもの)、古地図、名所図会の類、引札、絵葉書など ◆コンテンツ総容量:70GB ◆コンテンツ総件数(内訳):28,400 件〔古文書:約 5,400 件、地図約 19,600 件、その他 (写真など):約 3,400 件〕 ◆コンテンツ増加量:2,000 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:3,600 件/月 ◆館内等利用者数:160 人/月 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・図書館トップページのバナーにイメージ情報データベースに公開している画像を 1 枚貼り付け、ここをクリックすると、イメージ情報データベースへリンクするようにしている。 ・2 ヶ月ごとにテーマを決めて、Web 上で展示 (Web ギャラリー) を公開している。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館を電算化する図書館情報ネットワーク事業の中で、イメージ情報システムおよびデータベースの構築を位置づけて実施した。 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔システム開発、データベース構築〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:TIFF・JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組: —
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

堺市立中央図書館

住所: 590-0801 堺市堺区大仙中町 18-1 開設年: 1916 年 設置母体: 市町村区立

所蔵資料: 蔵書 1, 830, 223 冊 職員総数(非常勤を含む): 106 人

回答担当: 郷土資料担当

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔閲覧利用による原資料の劣化を防ぐ〕 ②二次利用・貸出〔出版物などへ掲載依頼が増加〕 ③活動成果の普及〔所蔵資料に関するレファレンス, 照会の増加〕
所蔵資料の 収録率	10% (ただし郷土資料の貴重資料のうち)
運営予算	◆年間予算に占める割合: 0. 17% ◆外部委託費が占める割合: 100% ◎課題・工夫点等: 貴重資料の利用と保存の両立。デジタル化の計画的事業化。
人員	◆運営担当者: 知識の多い職員 ◆職員のスキル等: ・Web ページ作成・更新に関してはホームページビルダーを利用し, 担当者が行う。・「準デジタルアーキビスト」の資格を取得。 ◆人材育成の取組: セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等: 計画的な人材育成をはかれるような状況にない。
権利処理	◆処理方法: 著作権フリー資料, 自機関のみ限定利用 ◆処理状況: その他: 該当なし
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕: 連携している〔他の機関とデジタル化する対象資料の調整を行っている〕
その他 F.A.	当館では資料を直接デジタル化することはせず, アナログでの撮影, 銀塩フィルムの保存を第一に考えている。デジタルデータについては WEB による公開, 二次利用 (出版物への掲載など) のための手段の一つであると考え。

【堺市立中央図書館・提供アーカイブ】

■デジタル郷土資料展, 地域情報活用支援事業 (1 件目/1 件中)

公開年: 2003 年 URL: www.lib-sakai.jp/ 更新頻度: 年数回程度

概要	「デジタル郷土資料展」は本来のデジタルアーカイブとは言えないが, 当館 HP 上に「むかしの堺港と大浜」など郷土資料のテーマで画像とキャプションで構成している。「地域情報活用支援事業」の一環として, 本格的なデジタルアーカイブに向けて準備中の段階である。 ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数: 200 件 ※画像 1 件を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量: 40 件/年 (公開分のみ)
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕: 115, 000 件 (ただし当館 HP トップページ件数) 〔昨年度は前年度比 44% 増〕 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: 魅力ある資料の公開につとめている。
構築	◆システム開発方法: その他: デジタルアーカイブとしてのシステム化は未実施 ◆構築予算〔理由〕: 0 円 〔図書館情報システムの一部として〕 ◆予算獲得のきっかけ: 独自のシステムは未実施であるが, インターネット蔵書検索システム導入のためのサーバ増設をきっかけに HP の一部としてコンテンツ公開を行った ◆構築業務の担い手: 内部の人材 ◆コンテンツ作成費: 51~100 万円
運営	◆年間運営予算: 1~100 万円 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕: 一部外部委託 〔資料撮影, マイクロ化, デジタル変換〕
技術	◆参考文献: 『写真資料デジタル化の手引き』 ◆メタデータ作成者: 司書 ◆準拠フォーマット: 不明 (メタデータの作成は未実施) ◆利用・提供用ファイル: JPEG, PDF ◆保存用ファイル: — ◆記録媒体: CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組: デジタルコンテンツについては, 利用のための方法と考えており, 特に保存面は考えていない。
システム連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない

神戸市立中央図書館	
住所:650-0017 神戸市中央区楠町7丁目2-1 開設年:1911年 設置母体:市町村区立	
所蔵資料:蔵書835,020冊 職員総数(非常勤を含む):57人	
回答担当:利用サービス課調査相談係	
目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔研究者のほか、市民レベルで貴重資料の利用機会を提供できた〕 ②資料の保存・管理〔現物利用による資料の劣化を防ぐことができた〕 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:今後も文部科学省等の補助、助成を得て引き続き貴重資料のデジタル化を進めたい。
人員	◆運営担当者:その他:郷土資料担当者が兼務している ◆人材育成の取組:その他:下記のとおり ◎課題・工夫点等:所蔵する貴重資料の活用、効果的な市民への還元と保存のため、神戸市立博物館と中央図書館で中央図書館貴重資料調査委員会を設置し、貴重資料の保存と活用にまつわる情報、人的交流を図っている。
権利処理	◆処理方法:その他:著作権、所有権に問題のない資料をデジタル化している ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔0件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔運営そのものではないが、神戸市立博物館と連携している〕 ◎課題・工夫点等:神戸市立博物館も歴史資料を多く所蔵しているので、中央図書館が所蔵する貴重資料の調査と活用方法について博物館と図書館が連携して検討している。
その他 F.A.	—

【神戸市立中央図書館・提供アーカイブ】

■神戸市立中央図書館デジタルアーカイブズ (1件目/1件中)	
公開年:2007年 URL:機関内一般公開 更新頻度:その他(今後点数が増えたら更新予定)	
概要	昭和13年の阪神大水害関係資料、名所図、航路図、開港・外国人居留地関係資料、錦絵、写真など神戸市立中央図書館が所蔵している貴重資料 ◆コンテンツ総容量:1.5GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:577件〔古文書、郷土資料、図版、絵図、地図など78種〕 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:館内に設置している閲覧専用の端末で自由にご覧いただいているほかに、図書館員が学校へ出向く出前授業、地域へ出向く出前トークを実施している。またCD-ROM版のデジタル教材を製作し、市内の小・中学校と地域福祉センターなどに配布した。
構築	◆システム開発方法:その他:専門業者に委託 ◆構築予算:501～1000万円 ◆予算の出所:国の補助金(委託費) ◆予算獲得のきっかけ:平成18年度文部科学省社会教育活性化21世紀プランの受託事業として ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:101～200万円
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔内容に変更を加えていない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:神戸市立中央図書館 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD、DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

函館市中央図書館

住所:040-0001 函館市五稜郭町 26-1 開設年:1928 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 680,000 冊 職員総数(常勤のみ):16 人

回答担当:奉仕・歴史係

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔原本資料を出納することなく利用が可能となり、保存状況が改善できた〕 ②検索性の向上〔地図・絵葉書・写真・ポスター等の図像資料を中心に利用が増加した〕 ③二次利用・貸出〔出版・テレビ・商品パッケージなど多目的に利用され、件数も増加した〕
所蔵資料の 収録率	不明(整理作業を行いながらの作業のため全点数の把握は難しい)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.6% ◆外部委託費が占める割合:95% ◎課題・工夫点等:デジタルデータの作成は館内で作成不可能なもののみ業者委託で作成し、公開・効率的な撮影システムの構築は、地元大学へ研究委託することで経費の節減を図っている。また、資料によっては整理補助ボランティアを育成し、費用負担の軽減を図っている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:前職として函館市史編さん室に勤務しており、歴史資料全般についてある程度の知識を有している。また前職在職中に職場内の HP 作成を担当し「函館市史」デジタル版等を制作、「函館市史」年表編発行過程でも年表データの入力をデータベース化するなど、独学で技術を学んできた ◆人材育成の取組:その他:システム開発委託先の大学と定期的に協議の場を設け、助言を得ている ◎課題・工夫点等:個人の知識・技術等に負うところも大きく、継続的事業展開には課題がある。そのため大学等の外部機関等専門機関との連携で図書館内に「専門家」を置かなくとも運営が可能な体制づくりを進める必要がある。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:— ◎課題・工夫点等:現在までのところ著作権・所有権等の問題のある資料はデジタル化していないが、調査等で外部の研究機関が来館する場合は意見交換等を行行情報の収集に努めている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔公開システムの構築および効率的な撮影方法等について大学と連携している〕 ◎課題・工夫点等: ・地域の共有財産である貴重な資料の保存・利用について、大学や博物館等と連携してそれぞれの特性を活かして協力する体制づくりも合わせて提案・実践している。 ・システムについては、公立はこだて未来大学と連携。 ・所蔵資料の内容調査については、北海道教育大学函館校と連携 など。なお、成果等について共同で更新可能な CMS 等も共同研究中(試験公開中)である。
その他 F.A.	資料番号を画像番号・フォルダ番号と同じにし、CSV で作成もしくは書き出した目録データと画像データが自動一致で更新できるように手間を省く設計にしている。市販データベースほど高度ではないが、複雑すぎてソフトに大きく依存するデータベースではなく、技術革新に応じて更新のしやすい、シンプルなデータベースとしている。以上のことで結果的に、なるべく簡易な運用ができるようにしている。

【函館市中央図書館・提供アーカイブ】

■デジタル資料館 (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:<http://www.lib-hkd.jp/digital/index.html> 更新頻度:年数回程度

概要	古地図・古写真・絵葉書・ポスターの図像資料を中心としたデジタルアーカイブである。また文字資料については「函館市史デジタル版」「はこだて人物誌」を展開しており、文字資料と画像資料による両面からのデジタル化を図っている。 ◆コンテンツ総容量:1.5TB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:16,370 件〔写真 3,000 枚、絵葉書 10,000 枚、ポスター 2,500 点、古文書・古地図 640 件、書籍等のテキスト化 230 冊(以上、未公開画像・資料等の点数も含む)〕※写真・絵葉書は 1 枚を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:1,350 件(デジタル資料館のトップページのカウンタ数) ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:高精細画像による拡大表示がスムーズにできるようなソフトを採用している。現在開発途上であり、今後とも利便性・他館システム等の状況を見ながら開発していく予定である。
構築	◆システム開発方法:その他:基本データベースは大学が開発、細部拡大などは市販ソフトを組み込んだ ◆構築予算:101~300 万円(コンテンツ作成委託料は含まず) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館の移転改築時に課題となっていた史料保存と利活用を両立させるために、新館構想のなかで予算化された。 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔コンテンツ作成以外の公開システム開発および試験運用〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:101~300 万円(コンテンツ作成料含む) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔データを職員が作成、更新等の作業は大学〕
技術	◆参考文献:— ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, FLASH ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:HD(ミラーリング構造)および CD・DVD による複数媒体による保存を実施している。また、デジタルデータの作成の際に地図については再度撮影し、データを再作成することは予算的に難しいため、貴重さに応じてポジフィルムでの撮影を実施している ◎課題・工夫点等:大学等と定期的に意見交換のための協議の場を設け、複数の立場から課題の解決に取り組んでいる。
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

秋田市立中央図書館明德館

住所:010-0875 秋田市千秋明德町 4-4 開設年:1983 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 370,000 冊/所蔵品 8,500 点 職員総数(非常勤を含む):20 人

回答担当:図書管理担当

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔貴重な原本の出納が減少したので達成できたと判断できる〕 ②検索性の向上〔資料の検索について飛躍的な向上がみられた〕 ③活動成果の普及〔ホームページでの紹介により、多くの研究者が来館した〕
所蔵資料の 収録率	0.6%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:過年度実施分を含め、国の緊急雇用創出事業交付金を活用しているため、当館からの出資はない。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:図書館システムおよび古文書、郷土資料の統括者であり、歴史資料保存会議等にも積極的に参加している。当館導入済デジタルアーカイブの試作品を作成し、委託業者に提供したことがある ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:古文書等、歴史資料に精通している職員が少ないことが現状であり、課題でもある。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、権利者との信頼関係 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔0 件/0 円〕 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブを推進している古文書は、当館で活用してもらうことを条件に寄贈された史料であり、内容についても一部寄贈者の先祖についての記述部分もあるため、今のところ館内での閲覧のみにとどめている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔県等の主催研修会に参加している〕 ◎課題・工夫点等:他機関からデジタルアーカイブ化について相談があった場合、構築方法等について説明できること。
その他 F.A.	データベースの作成には古文書の読解力等専門的技術を要したが、デジタルアーカイブ化後は、パソコンの操作のみを他職員に説明するだけでよかったこと。

【秋田市立中央図書館明德館・提供アーカイブ】

■那波家文書 (1 件目/1 件中)	
公開年:2006 年 URL:機関内一般公開 更新頻度:年 1 回程度	
概要	秋田藩御用商人の史料。絹方、鋳産方、酒造方、藩境警護など、古文書 6,860 点 (1 枚換算で約 80 万枚) を所蔵する。うち、2,524 点 (1 枚換算で約 24 万枚) のデジタルアーカイブ化が終了。平成 21 年度は、115,000 枚分のデジタルアーカイブ化の事業を行っている。 ◆コンテンツ総容量:80GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:2,500 件〔古文書〕※古文書のデータベース (1 件が 1 枚～500 枚以上の時もある) を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:38,000 件/年 (平成 17～20 年度は実施していないが平均値に加えている)
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未提供 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:その他:仕様書およびサンプルを基に委託業者が開発 ◆構築予算:301～500 万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成 14 年度緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔データベースは当館、撮影および全体的な構築は業者が実施〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔図書館業務のひとつではあるが、独立した予算計上はしていない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:デジタルアーカイブの構築と運用 (他) ◆メタデータ作成者:司書 ◆準拠フォーマット:エクセル ◆利用・提供用ファイル:TIFF ◆保存用ファイル:未使用、アクセス ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:マイクロフィルム (ネガ、ポジ) を同時に作成し、将来のメディアに対応できるように配慮している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

富山市立図書館

住所:930-0085 富山市丸の内1丁目4-50 開設年:1970年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書946,000冊 職員総数(非常勤を含む):76人

回答担当:館内奉仕係

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔公開した画像について、利用者からの問い合わせがくるようになった〕 ②活動成果の普及〔貸出のみにとどまらない、図書館の多様な活動が認識されるようになった〕 ③—
所蔵資料の 収録率	0.0003%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.17% ◆外部委託費が占める割合:90% ◎課題・工夫点等:国の緊急雇用創出事業交付金を受け、公募により業務委託を行っている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して今では全体を管理する立場として、運用・更新等を外部業者に発注している ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:職員ごとのデジタル情報に関する知識や習熟度に差があり、これらを解消して職員全体のスキルアップをはかることが、課題である。
権利処理	◆処理方法:専門家等に一任、その他:著作権保護期間の満了したものをデジタル化している ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	他に類例のない、地域固有の情報提供に主眼を置いている。

【富山市立図書館・提供アーカイブ】

■山田孝雄文庫 電子化資料 (1件目/2件中)

公開年:2009年 URL:<http://www.library.toyama.toyama.jp/yamadadl/index.html> 更新頻度:月1回程度

概要	山田孝雄氏の自筆原稿および、同氏旧蔵になる江戸期以前の和古書をデジタル画像化したもの ◆コンテンツ総容量:0.5GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:80件〔和古書55件 自筆原稿25件〕 ◆コンテンツ増加量:100件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成21年度緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔撮影〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■電子図書館 (2件目/2件中)

公開年:2003年 URL:<http://denshi.library.toyama.toyama.jp/> 更新頻度:年1回程度

概要	各種の富山市古地図および葉袋のパッケージデザイン等をデジタル画像化したもの ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:300件〔古地図120件、葉袋180件〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:ホームページのリニューアル ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔撮影、データ入力等〕 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔撮影〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:TIFF ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

岡崎市立中央図書館

住所:444-0059 岡崎市康生通西 4 丁目 71 開設年:1916 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 789,763 冊 職員総数(非常勤を含む):35 人

回答担当:情報サービス班

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔長年にわたり、収集、蓄積された地域資料の一部を web 上で公開し、非来館者にも紹介することができた〕 ②資料の保存・管理〔デジタル化により、現物の保存状態が良くないものも長期保存が可能となった〕 ③広報活動
所蔵資料の 収録率	0.04%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:レファレンス業務を担当する情報サービス班の職員が、地域資料の中からデジタル化する資料を選定し、業者にデジタル化を委託している ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:処理していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【岡崎市立中央図書館・提供アーカイブ】

■岡崎市立中央図書館デジタルアーカイブ (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:<http://www.library.okazaki.aichi.jp/tosho/local/da.html> 更新頻度:年 1 回程度

概要	図書館が所蔵する地域資料の中で、和綴本、軸、絵葉書、地図・絵図など、開架書架に配架されていない資料 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:226 件〔和綴本 90 冊、軸 66 点、絵葉書 60 点、絵図 2 点、鳥瞰図 2 点、錦絵 6 点〕 ◆コンテンツ増加量:50 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:中央図書館の移転新築に合わせ、ホームページをリニューアル、そこへ地域資料のデジタル化も掲載することになった ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔資料のデジタル化、HP 作成〕 ◆コンテンツ作成費:101~200 万円
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない